

ZENRIN

証券コード：9474

2018年3月期 第2四半期決算説明会

2017年11月14日

株式会社ゼンリン

Maps to the Future

代表取締役社長

高山 善司

代表取締役副社長

網田 純也

執行役員コーポレート本部長

松尾 正実

1. 2018年3月期 第2四半期決算概要
2. 2018年3月期 通期業績予想
3. 事業概況
4. Appendix

注)本資料には、本資料作成日時時点で入手可能な将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済の動向・市場需要・競合状況・為替の変動等にかかわる様々なリスクや不確定要因により、実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性がありますことをご承知おきください。

尚、本資料掲載情報は、表示単位未満の端数切捨て、増減率の小数点以下第2位四捨五入し小数点第1位まで記載しております。また、増減率が1000%を超える場合、及び一方若しくは両方がマイナスとなる場合は「-」表記しております。

1. 2018年3月期 第2四半期決算概要

- 1) 決算概要
- 2) 営業利益増減要因
- 3) 売上高・利益の推移
- 4) 中長期経営計画(ZGP2020)で区分した事業別売上高
- 5) セグメント情報
- 6) キャッシュ・フロー推移

1-1) 決算概要

2018年3月期 第2四半期決算のポイント

前年同期比<増収増益>

- 国内カーナビゲーション用データの販売が好調に推移、GIS関連の売上も堅調に推移
- 売上高は3期連続増収。各利益ともに、前期損失から改善

業績予想比<増収増益>

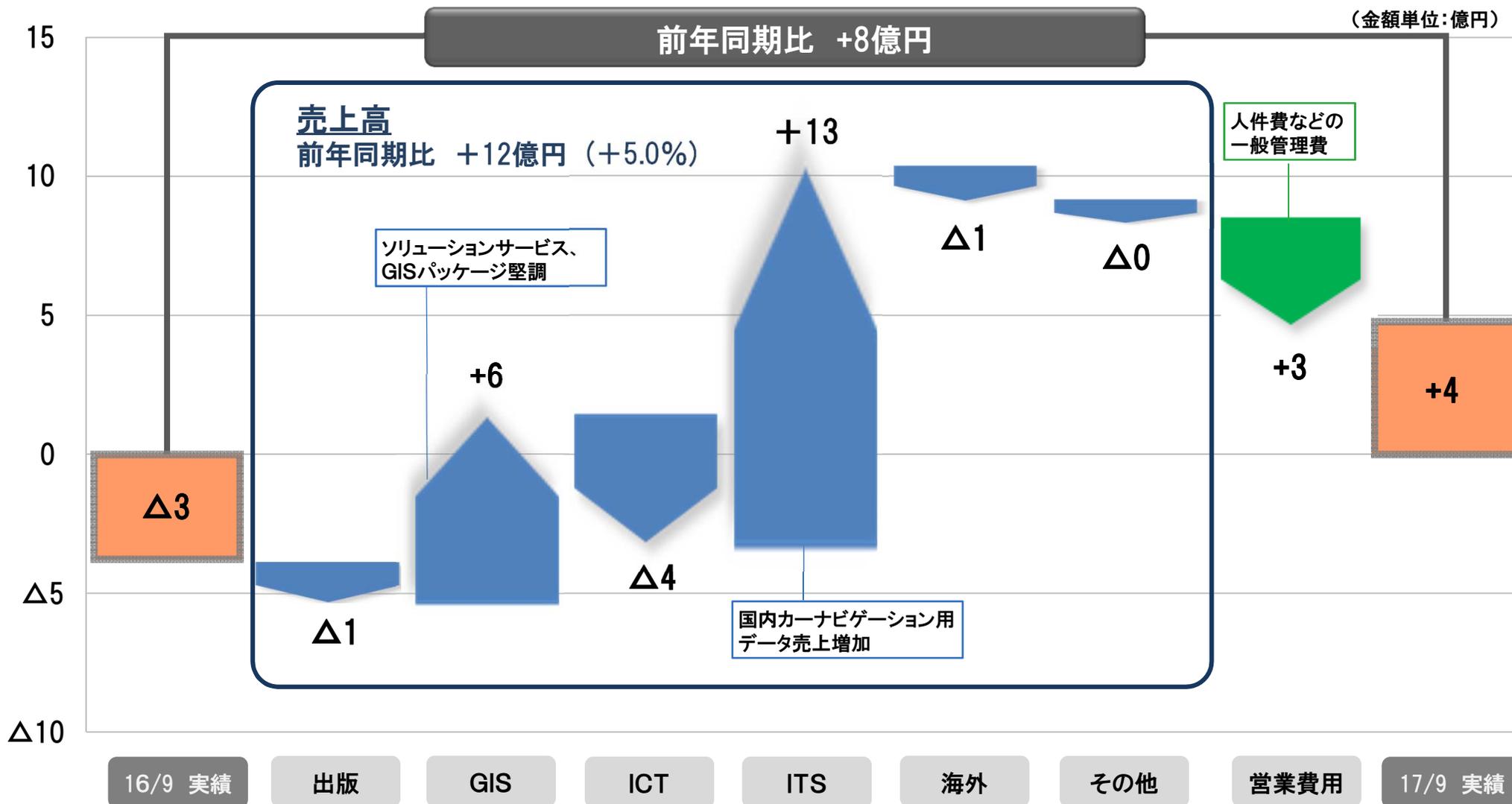
- 業績の進捗に合わせ、業績連動賞与を上期より計上したことから、人件費などの一般管理費が増加したものの、増収効果等により利益を確保

(金額単位:百万円)

	2017年3月期 Q2実績	2018年3月期 Q2業績予想 (5/8)	2018年3月期 修正予想 (10/20)	2018年3月期 Q2実績	前年同期比	増減率 (%)	業績予想比 (5/8)	増減率 (%)	修正予想比 (10/20)	増減率 (%)
売上高	24,783	25,000	26,000	26,016	1,233	5.0	1,016	4.1	16	0.1
営業費用	25,161	25,000	25,530	25,546	384	1.5	546	2.2	16	0.1
営業利益	△378	0	470	470	849	—	470	—	0	0.1
営業利益率	△1.5%	—	1.8%	1.8%	3.3pt		1.8pt		0.0pt	
経常利益	△207	0	720	725	932	—	725	—	5	0.7
親会社株主に帰属 する四半期純利益	△387	0	210	213	601	—	213	—	3	1.6

※10/20公表の業績予想の修正値から大きな変更はございません。

1-2) 営業利益増減要因



1-3) 売上高・利益の推移

売上高

営業利益

経常利益

親会社株主に帰属する四半期純利益

前年同期比

1,233増加 (+5.0%)

849改善 (-)

932改善 (-)

601改善 (-)

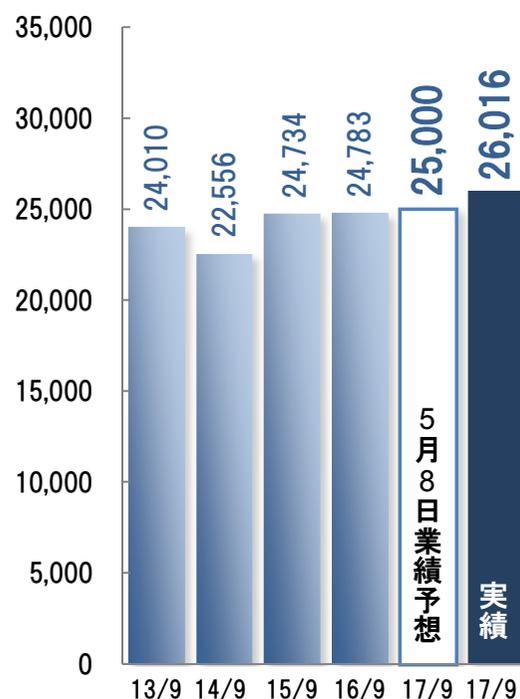
業績予想比
(5/8公表)

1,016増加 (+4.1%)

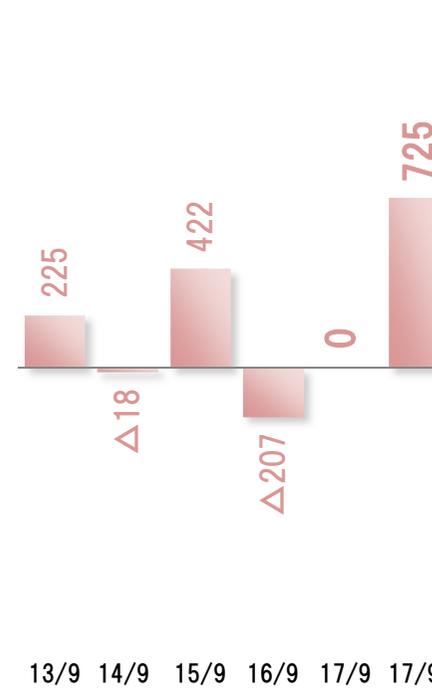
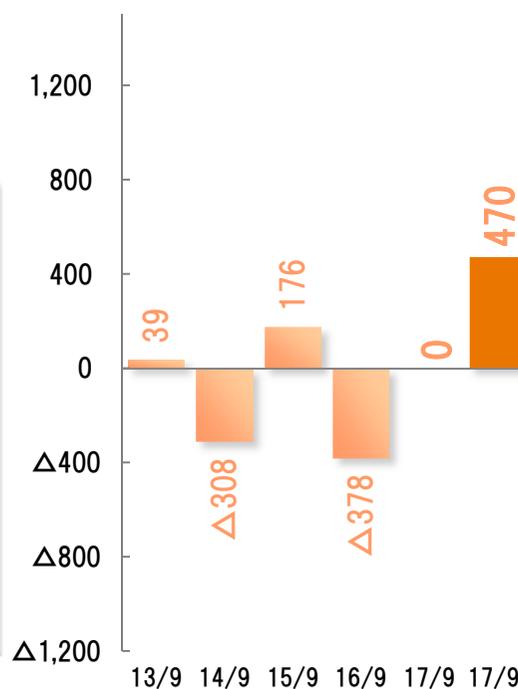
470改善 (-)

725改善 (-)

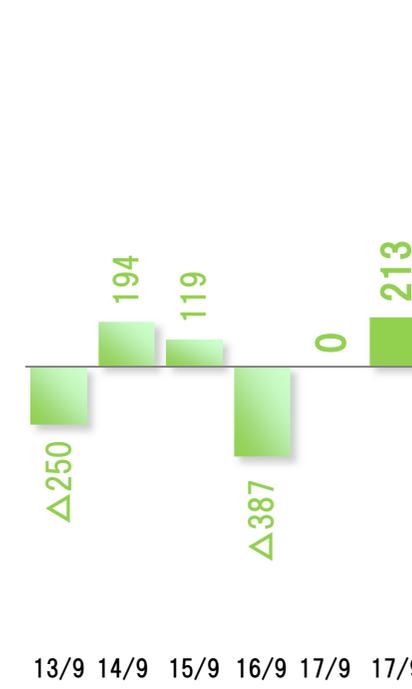
213改善 (-)



3期連続増収

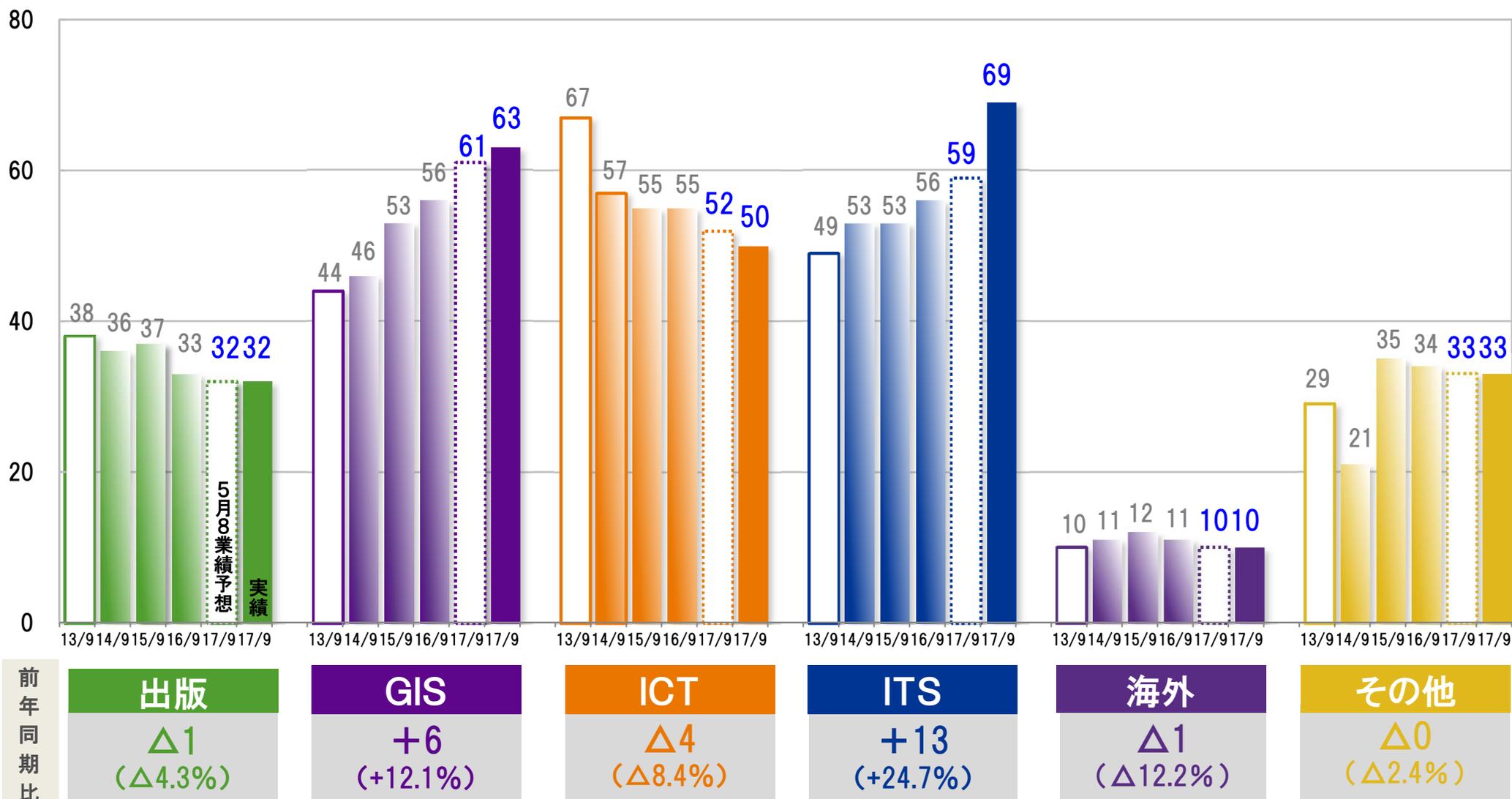


前期損失→利益



※10/20公表の業績予想の修正値から大きな変更はございません。

1-4) 中長期経営計画(ZGP2020)で区分した事業別売上高



※2013年9月期(白抜き棒グラフ)はZGP2015の事業区分で集計した売上高

1-5) セグメント情報

売上構成
比率

84.3%

1. 地図データベース関連事業

主要品目等：住宅地図帳、住宅地図データベース
国内外カーナビ用地図データ
スマートフォン向けサービス
各種メディア・デバイスへの地図情報提供等



6.0%

2. 一般印刷関連事業

主要品目等：商業印刷



9.7%

3. その他

主要品目等：仕入商品、デジタルサイネージ
ダイレクトメール発送代行、インシップ広告

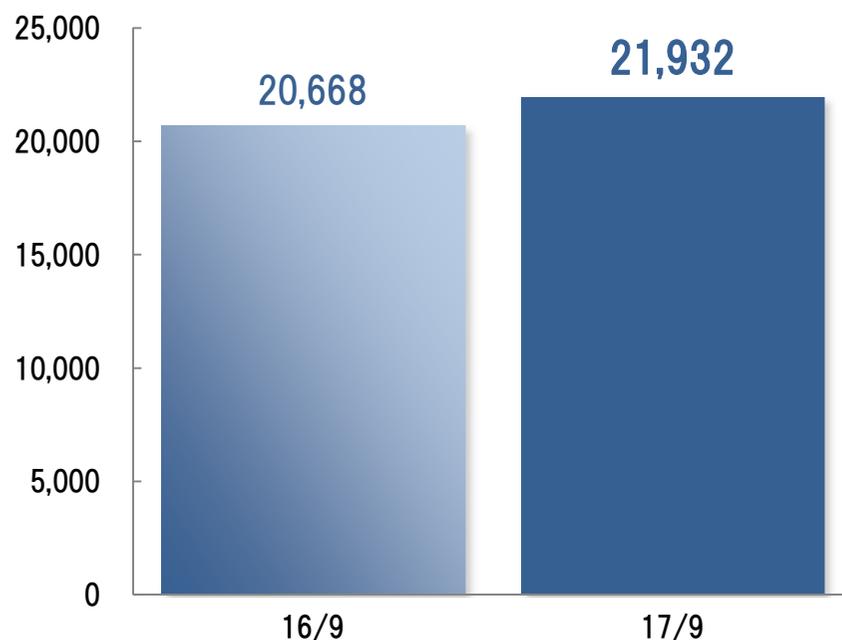


1-5) 地図データベース関連事業

売上高

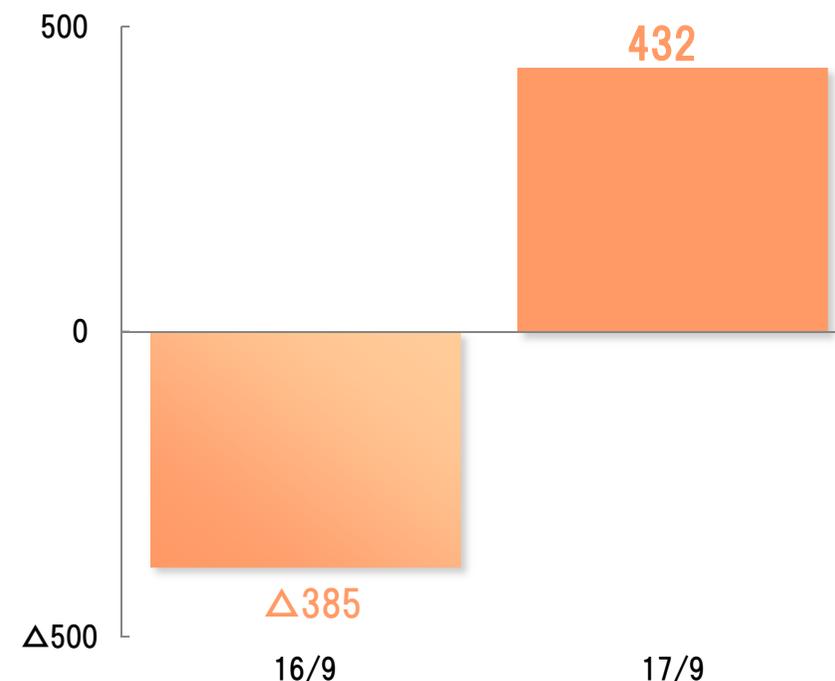
前年同期比

1,263増加 (+6.1%)



営業利益

817改善 (-)



- 国内カーナビゲーション用データの販売が好調に推移、GIS関連の売上も堅調に推移
- 人件費など一般管理費が増加したものの、増収効果等により利益を確保

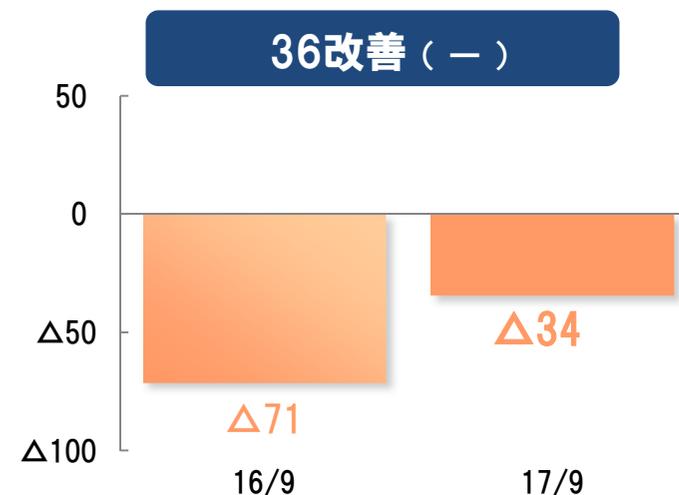
1-5) 一般印刷関連事業・その他

一般印刷関連事業

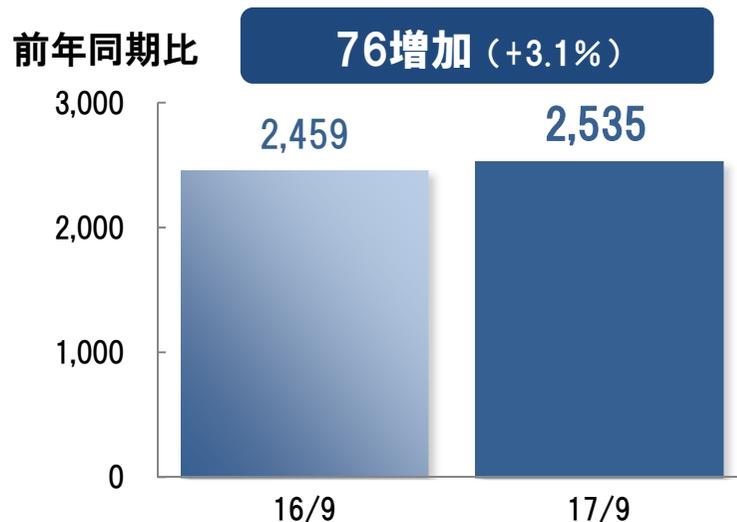
売上高



営業利益



その他

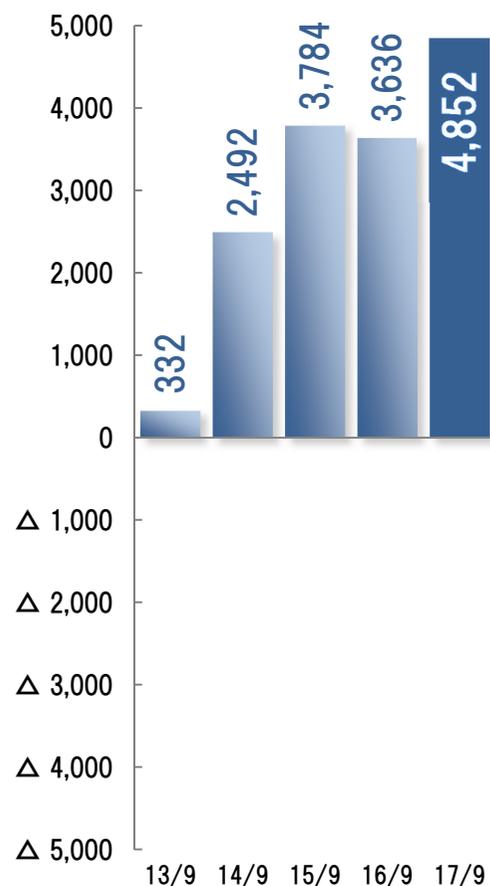


1-6) キャッシュ・フロー推移

営業CF

前年同期比

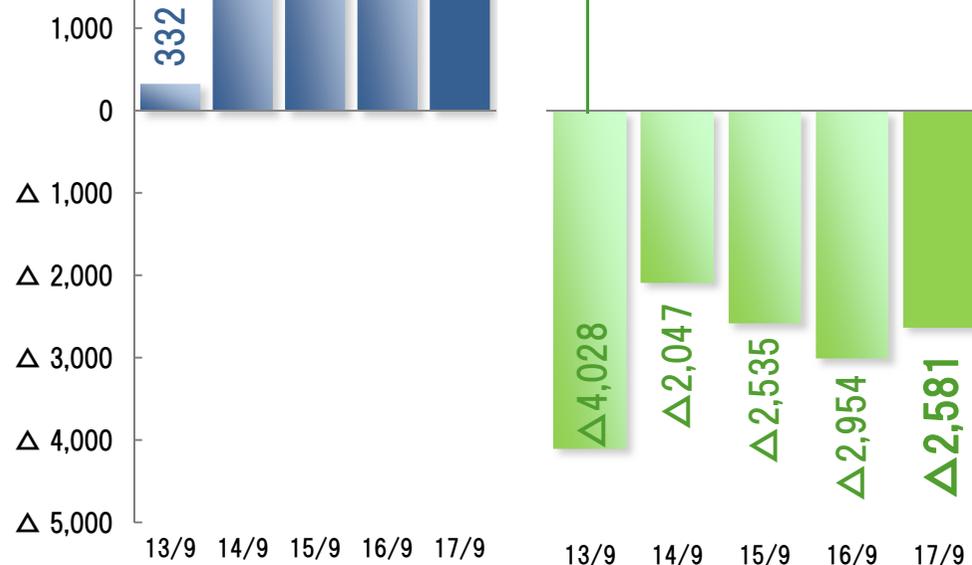
1,216収入増加



投資CF

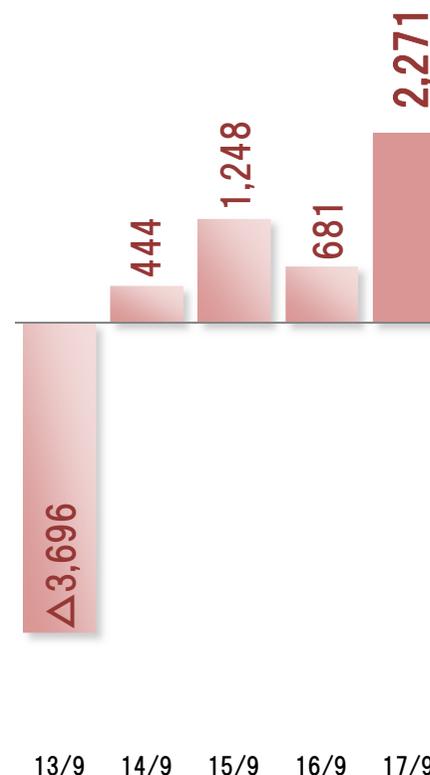
373支出減少

自社物件増改築



フリーCF

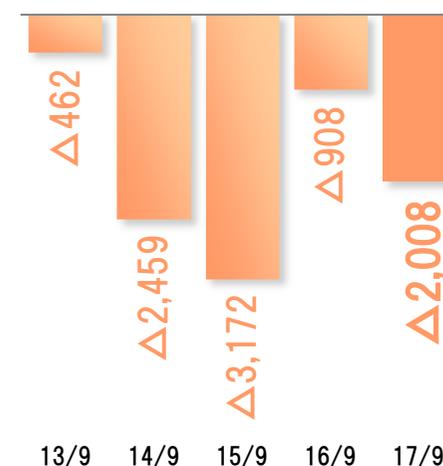
1,589収入増加



財務CF

1,099支出増加

フリーCF	2,271
財務CF	△ 2,008
換算差額	△ 6
現預金減少	256
期首現預金	6,817
期末現預金	7,074



2. 2018年3月期 通期業績予想

1) 通期業績予想
(5月8日公表値から変更なし)

2) 配当金

2-1) 通期業績予想

2018年3月期 通期業績予想について

現段階においては、2017年5月8日に公表した通期業績予想から変更なし

前期比<増収増益>

- GIS事業による収益確保
- ADAS・ドローンなど地図データ先行整備と関連企業との提携強化
- 時空間情報システムの安定運用と商品開発

(金額単位:百万円)

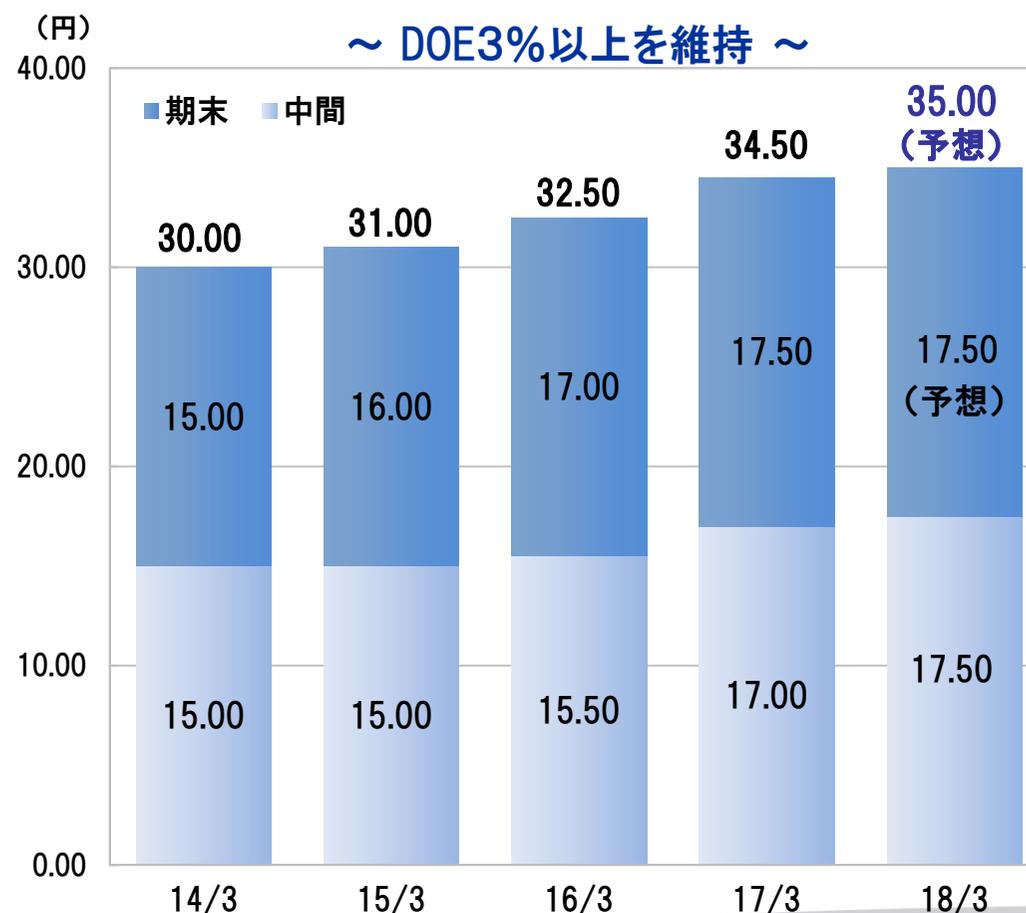
	2017年3月期 実績	2018年3月期 予想	前期比	増減率(%)
売上高	57,819	60,000	2,180	3.8
営業費用	53,584	55,500	1,915	3.6
営業利益 営業利益率	4,234 7.3%	4,500 7.5%	265 0.2pt	6.3
経常利益	4,527	4,700	172	3.8
親会社株主に帰属 する当期純利益	2,462	2,700	237	9.7

2-2) 配当金

基本方針

適正な内部留保を考慮しつつ、中長期経営計画における利益成長に基づいた利益還元を実施
連結株主資本配当率(DOE)3%以上を目標

2018年3月期配当金（前期比）	
中間	17円50銭（+0円50銭）
期末（予定）	17円50銭（± 0円）
年間（予定）	35円00銭（+0円50銭）



3. 事業概況

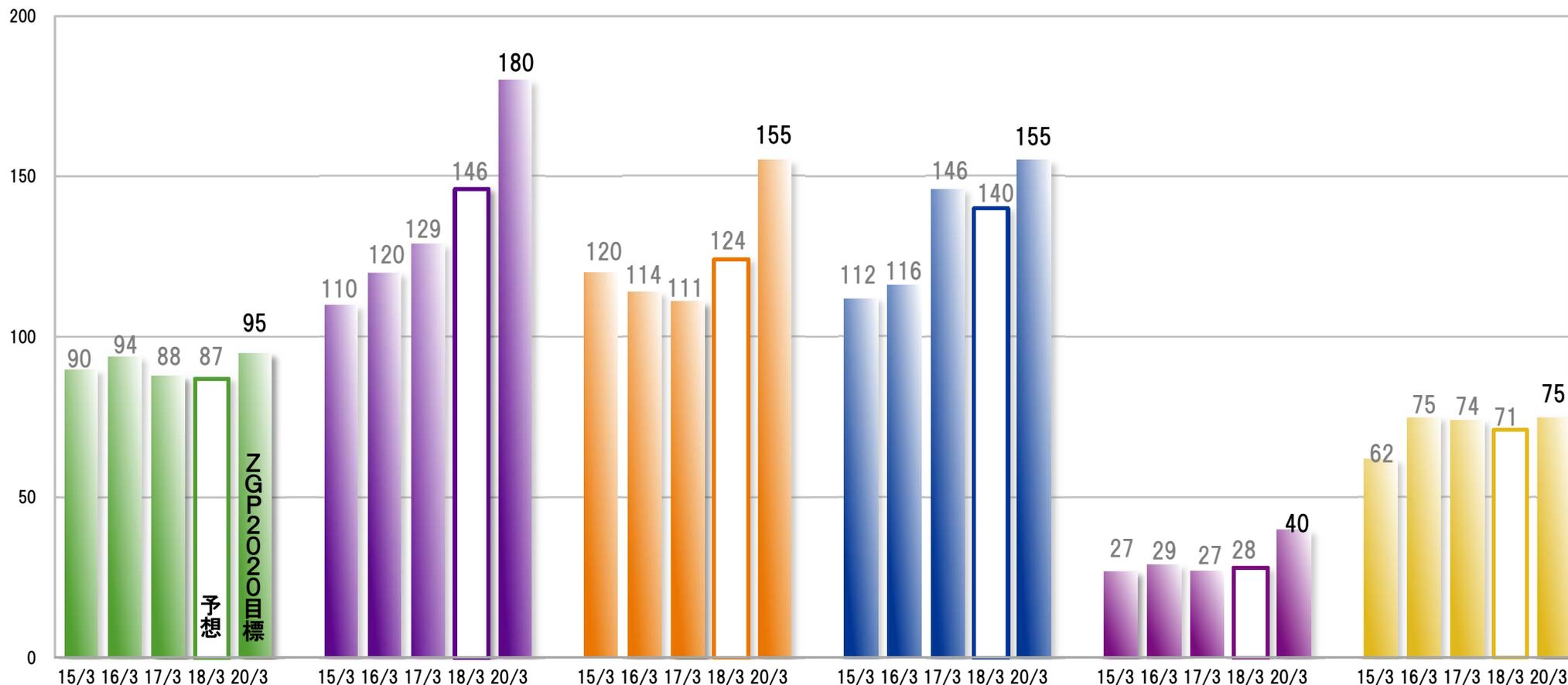
1) 中長期経営計画(ZGP2020)で区分した事業別売上高

2) ZGP2020事業戦略

- 事業別売上高(実績/予想/ZGP2020目標)
- 重点施策

3-1)中長期経営計画(ZGP2020)で区分した事業別売上高

(金額単位:億円)

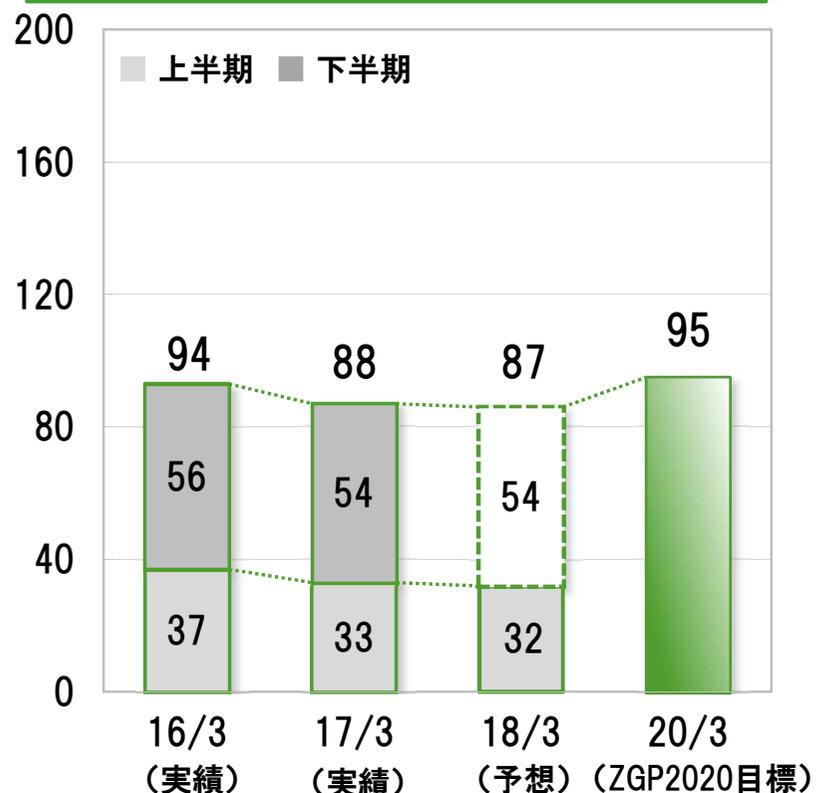


	出版	GIS	ICT	ITS	海外	その他
17/3						
↓						
18/3	△1 (△1.4%)	+17 (+13.3%)	+13 (+11.7%)	△5 (△3.8%)	+1 (+4.4%)	△2 (△3.9%)

3-2) ZGP2020事業戦略 — 出版事業 —

2018年3月期 売上高予想
前期比 $\Delta 1$ 億円($\Delta 1.4\%$)

＜第2四半期進捗＞
住宅地図帳は前期比減収($\Delta 7\%$)も
計画内で進捗



上半期は実績

プリントメディアの「コト」を追求

営業プロセス改革による営業リソースの創出

自治体を中心とした企画地図商品による売上拡大

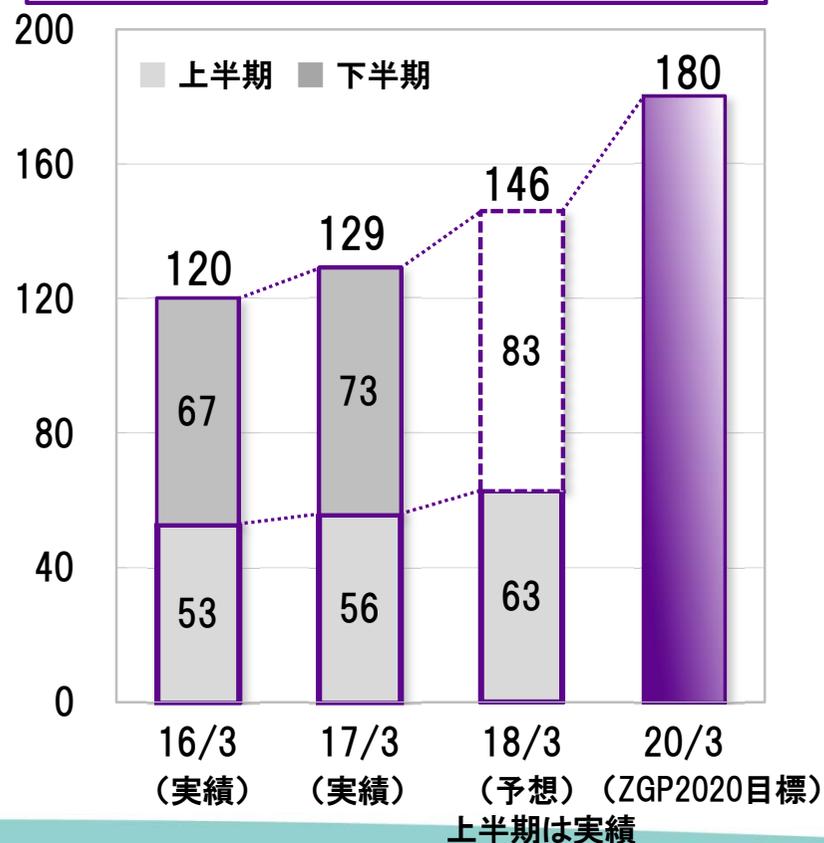
新たな地図コンセプトで事業領域を拡大

- 「Map Designビジネス」で新たな領域を確立
- ・個人ユーザー向けMap Design商品を順次リリース
 - ・法人向け販売促進用商品を拡充
 - ・観光用プリントメディアで市場創造
 - ・オリンピック・パラリンピック関連商品で期間収益獲得

3-2) ZGP2020事業戦略 –GIS事業–

2018年3月期 売上高予想
前期比 +17億円(+13.3%)

＜第2四半期進捗＞
ソリューションビジネス堅調に推移
GISパッケージ契約数増加



ゼンリンGISブランド別の戦略強化

自治体業務をターゲットとしたビジネス拡大

新規ビジネスモデルの確立

- ・SNS系販売促進支援ビジネスの収益拡大

ゼンリンGIS商品群の市場投入で収益拡大

- ・既存の住宅地図データ提供ビジネスの維持
- ・GISソリューションの強化
- ・GISパッケージ商品からセレクション商品へのアップセル
- ・新たなGISパッケージ商品のリリース

3-2) ZGP2020事業戦略 –GIS事業– (GISブランド構築)

GISブランド構築

※数値は2018年3月期
売上規模(前期比)

官公庁/
自治体

大手企業

中小企業

マーケティング

オペレーション

営業

業務全般

ソリューション

専用システム向け住宅地図データ提供

- ・金融(担保評価、顧客管理、営業支援等)
- ・物流(配送、動態管理等) 他

住宅地図データとその他情報を活用

- ・建設業(物件情報、3D都市モデルデータ)
- ・不動産仲介業(物件管理、売買、空家、空地)
- ・インフラ(施設管理) 他

120億円(+12)

自治体業務をターゲットとしたビジネス確立

- ・消防・警察(緊急指令システム等)
- ・ハザードマップ、避難所、空家、空地、施設管理 他

・自治体向け住宅地図情報サービス

セレクション

6億円(+1)

- ・販促、出店計画
- ・移動、行動分析
- ・商圈分析

20億円(+4)

- ・パッケージ(プレミアム)商品リリース
- ・パッケージ商品の機能、コンテンツ追加

アップセル

アップセル

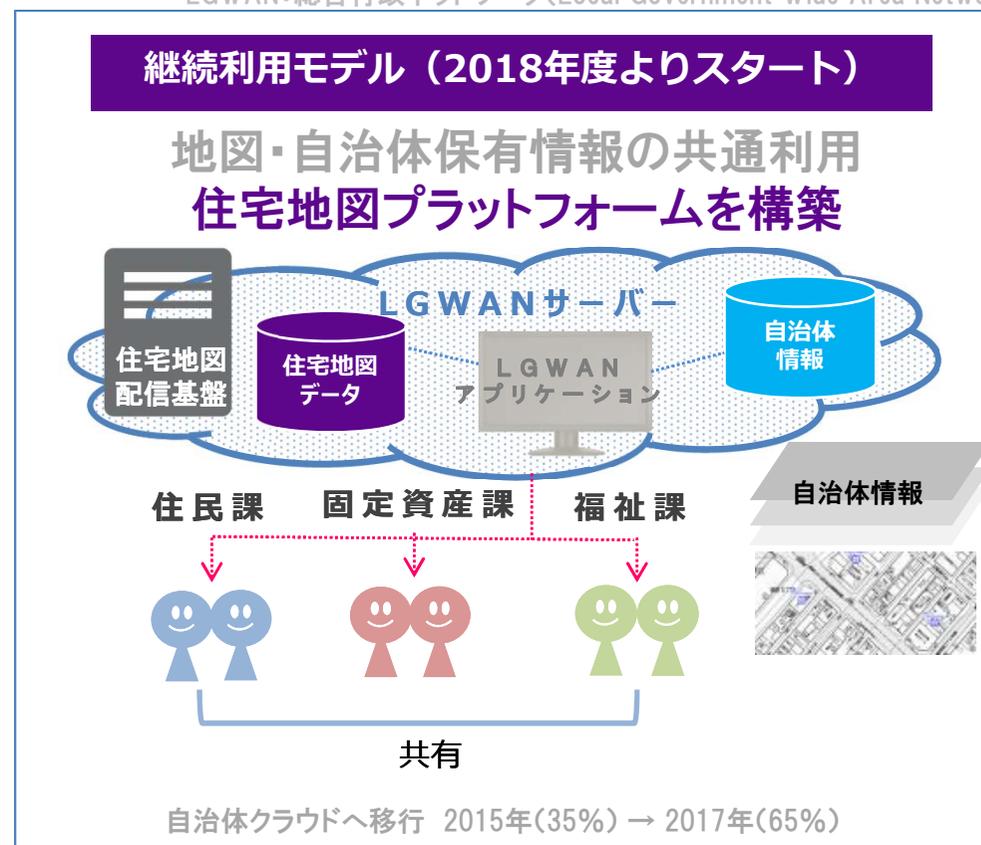
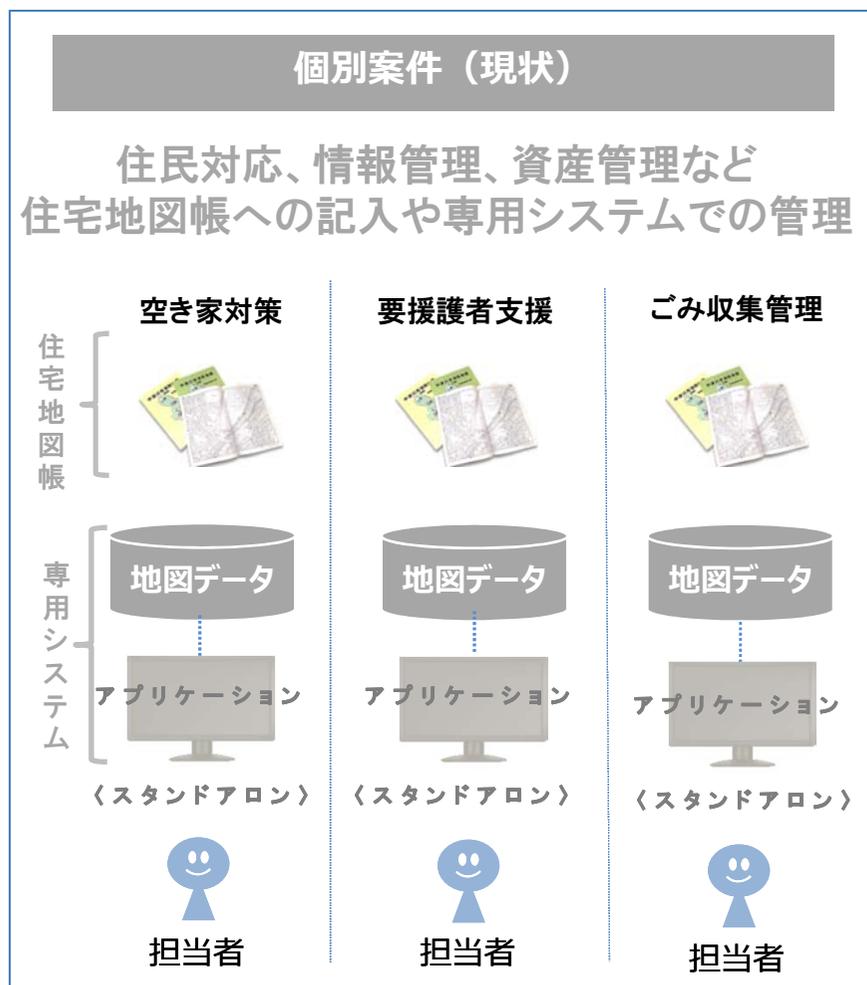
パッケージ

パッケージ(スタンダード・ライト)商品リリース

- ・専門業務、業種別のラインナップ

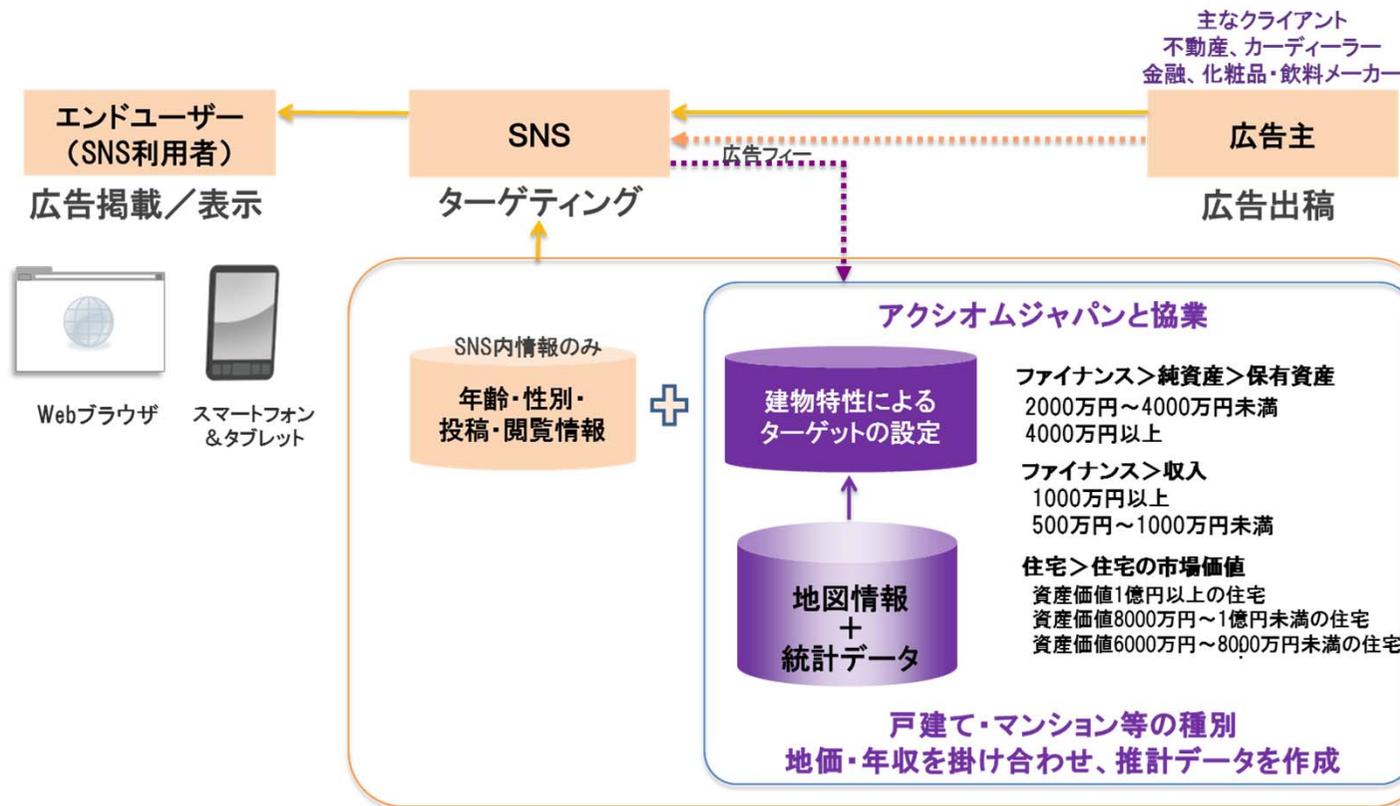
LGWANに対応した住宅地図プラットフォームの構築による自治体ビジネス拡大

LGWAN:総合行政ネットワーク(Local Government Wide Area Network)



LGWANアプリケーションでの利用に留まらず、
ハザードマップ等の住民への情報提供、
個別業務での地図出力など、住宅地図を
冊子やWebで利用できる環境を提供

インターネット広告のターゲティング用データの利用拡大



採用実績

- ・2016年12月 Facebookパートナーカテゴリに採用
- ・2017年 9月 大手ポータルサイトに採用

建物特性によるターゲット設定に新規データ追加

建物特性として、マンション(分譲・賃貸)、戸建て築年数等の新規データの提供を検討

3-2) ZGP2020事業戦略 –GIS事業– (GISパッケージ)

ソリューション

セレクション

パッケージ

不動産 プレミアム
 スタンド機能に加え用地仕入に関する情報収集から営業管理をサポート
 ・価格
 1都道府県
 1ID 20,000円/月

不動産 スタンド
 物件、土地調査に必要なコンテンツを一括閲覧可能
 ・価格
 1都道府県
 1ID 10,000円/月

不動産 ライト
 不動産賃貸仲介時の物件周辺情報をお客様の要望に合わせ表示可能
 ・価格
 1市区町村
 1ID 2,980円/月

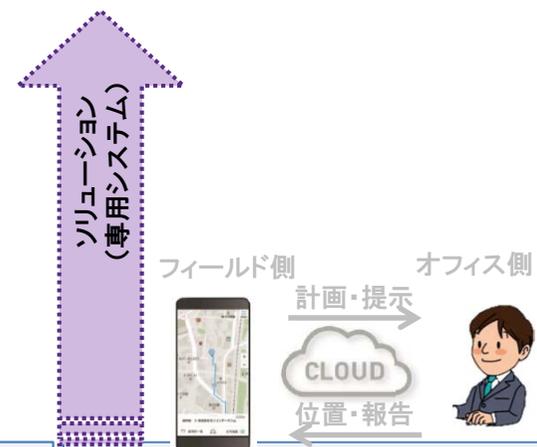


建設
 工事案内等に必要な住宅地図等の閲覧と地図画像付の案内図出力
 ・価格
 1都道府県
 1ID 10,000円/月

税理士
 相続税申告に必要なコンテンツの閲覧と複製許諾証付き地図が利用可能
 ・価格
 1都道府県
 1ID 10,000円/月
 他 複数設定

不動産鑑定士
 対象物件の評価に必要なコンテンツを一括閲覧可能
 ・価格
 1都道府県
 1ID 10,000円/月

ZENRIN BUSINESS SUPPORT NAVI
 フィールド業務とオフィス業務に対応した、業務パッケージ
 顧客管理、移動体管理、報告書作成と閲覧など、業務効率化をサポート
 ・価格
 スマートフォン 1台 7,800円/月



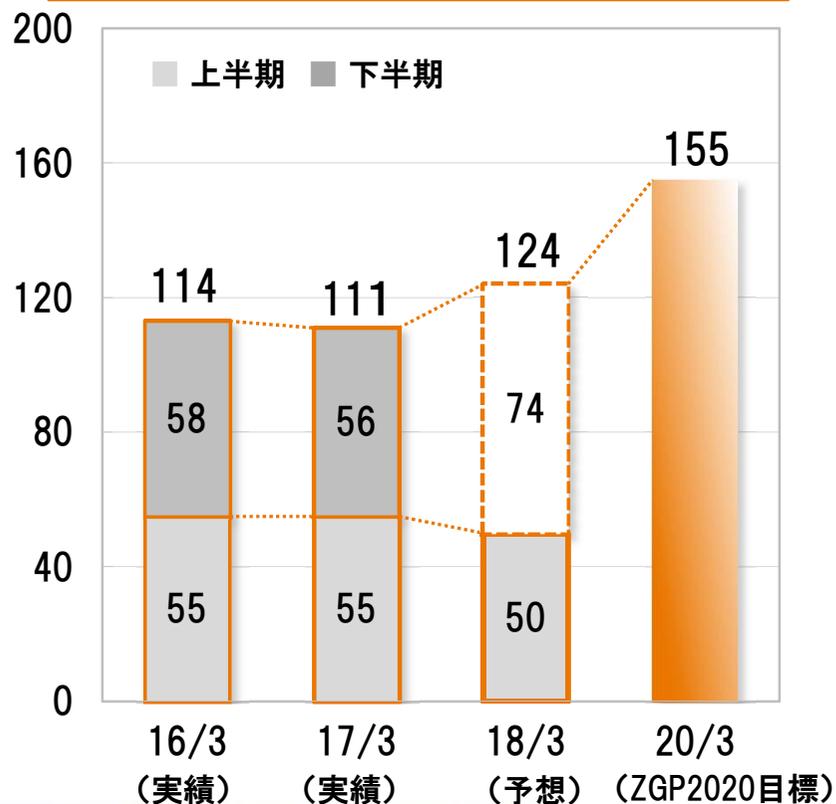
- ・業種、業務に必要なコンテンツに限定(商品毎に設定)
 住宅地図、ブルーマップ、用途地域、地価公示、地価調査
 相続税路線価、固定資産税路線価、衛星画像
- ・業務内容に合わせた機能を搭載(商品毎に設定)
 地図表示検索、地番検索、印刷(切り出し)、計測、
 図形描画、重ね合わせ表示、衛星画像確認、属性表示
- ・オンラインショップでの申し込みスタート(2017/7~)



3-2) ZGP2020事業戦略 —ICT事業—

2018年3月期 売上高予想
前期比 +13億円(+11.7%)

＜第2四半期進捗＞
スマートフォン向けサービス会員数減少
他社サービスへの地図DB利用増加



上半期は実績

ITメディアからIoTプラットフォームへ

時空間コンテンツ提供による地図DB利用価値の向上

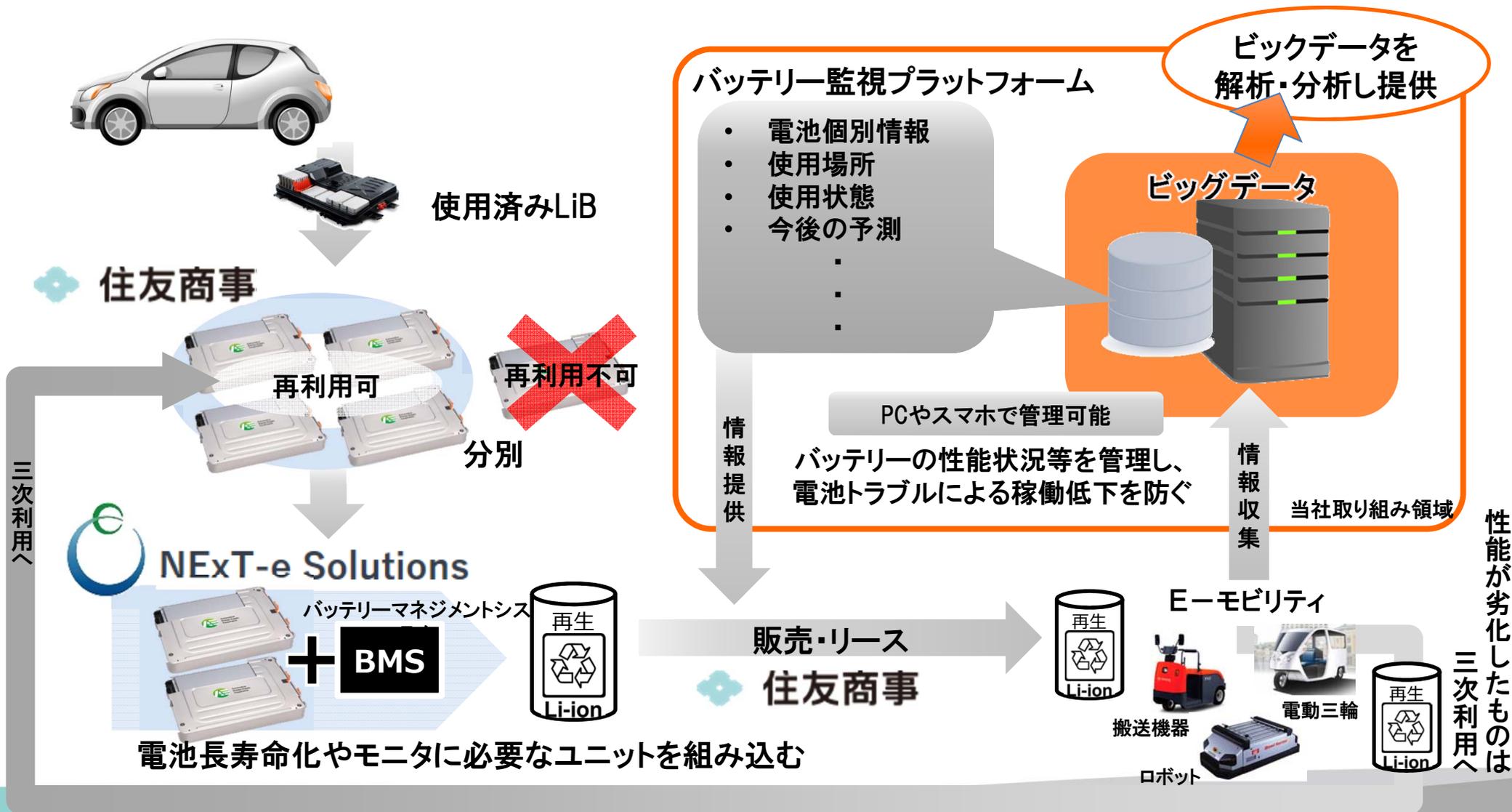
ITメディアへの地図提供ビジネスから
トータルソリューションビジネスへ

- ・大手ポータルや交通事業者などの新サービス構築
- ・テレマティクスによる動態管理システムの拡販

新規事業領域での収益拡大

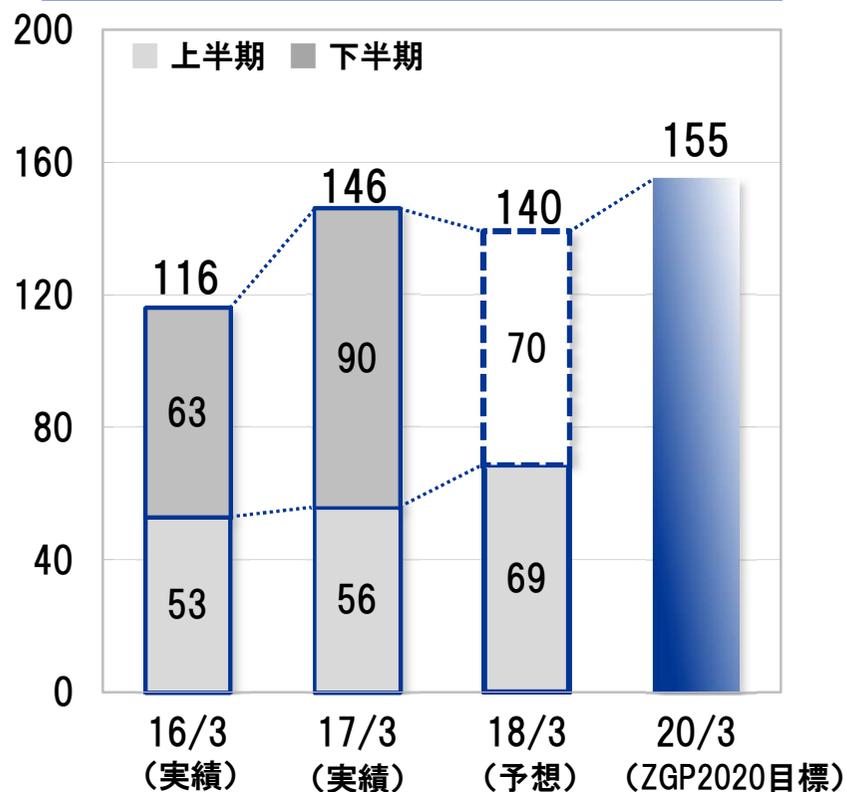
- ・ドローンビジネスでの技術基盤、収益基盤の確立
- ・デジタルサイネージ関連での位置情報ビジネスの拡大
- ・3Dデータを活用したソリューションサービスの提供

再生品リチウムイオン電池(再生LiB)の監視・管理プラットフォームの構築



2018年3月期 売上高予想
前期比 $\Delta 5$ 億円($\Delta 3.8\%$)

＜第2四半期進捗＞
既存カーナビ用地図データが好調
ADAS関連は計画どおり進捗



上半期は実績

自動運転時代への対応強化

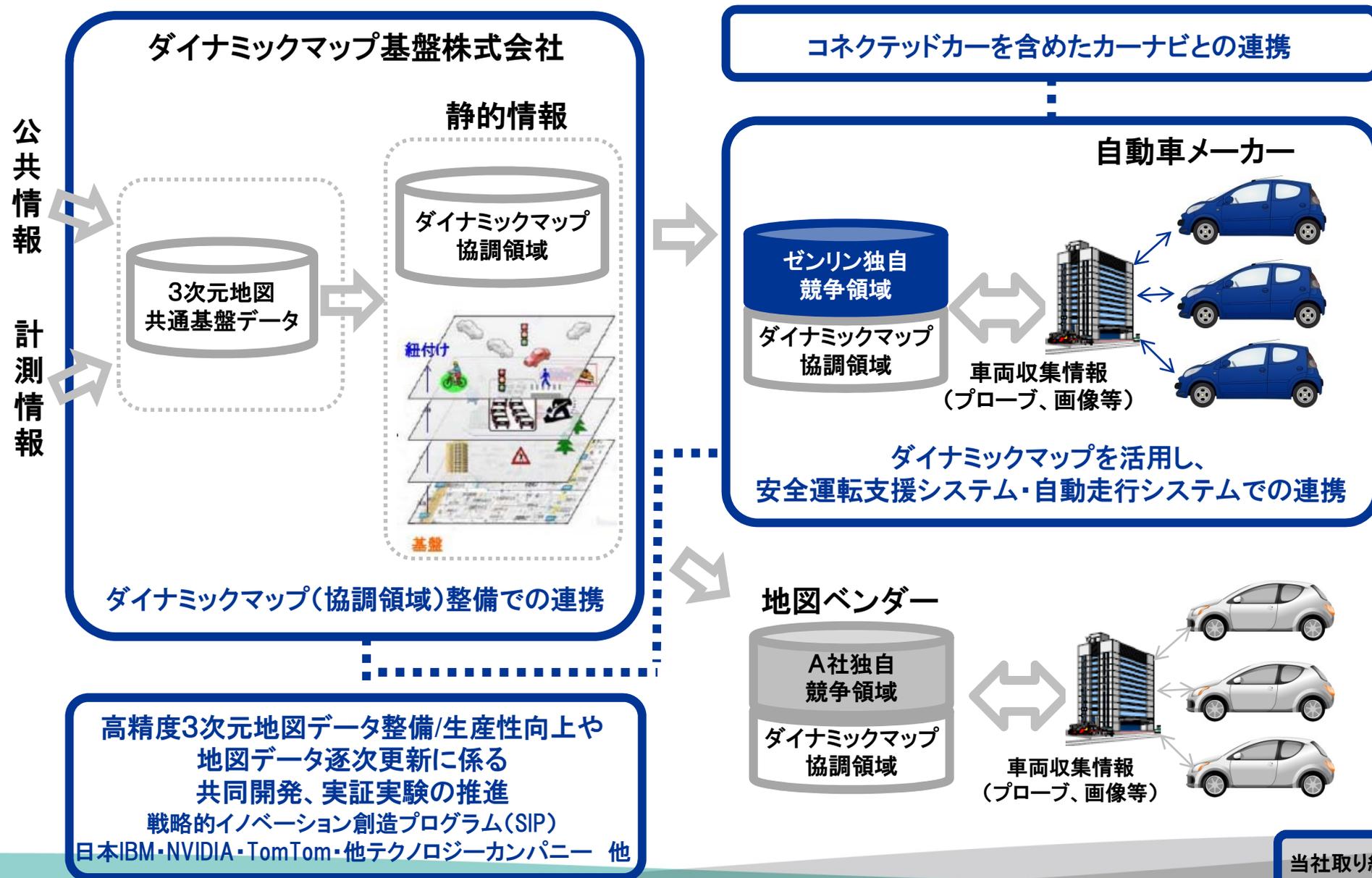
時空間コンテンツ提供による地図DB利用価値の向上

国内ITS市場におけるトータルソリューションの提供

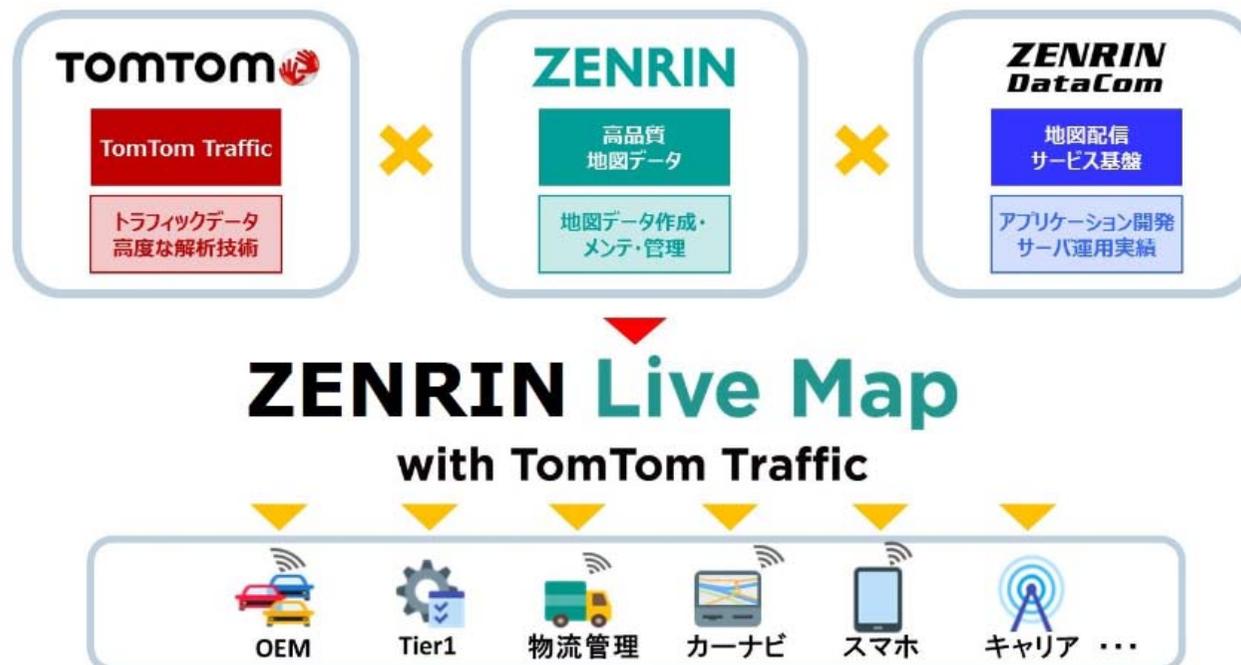
高精度地図の先行開発及び各社対応力強化

- ・DMPの共通基盤地図(協調領域)整備への技術貢献
- ・競争領域の取り組み推進
 - 自動運転向け地図ソリューション「ZGM Auto」
 - 位置情報ビックデータを活用した「地図エコシステム」
- ・各OEMメーカーの量産に対応した体制構築

3-2) ZGP2020事業戦略 —ITS事業— (ADASの取り組み)



TomTom社とトラフィックサービス共同開発 (2018年度以降に実証開始)



IoT機器から得られる位置情報ビッグデータと連携し
社会全体の交通情報の精度向上に貢献

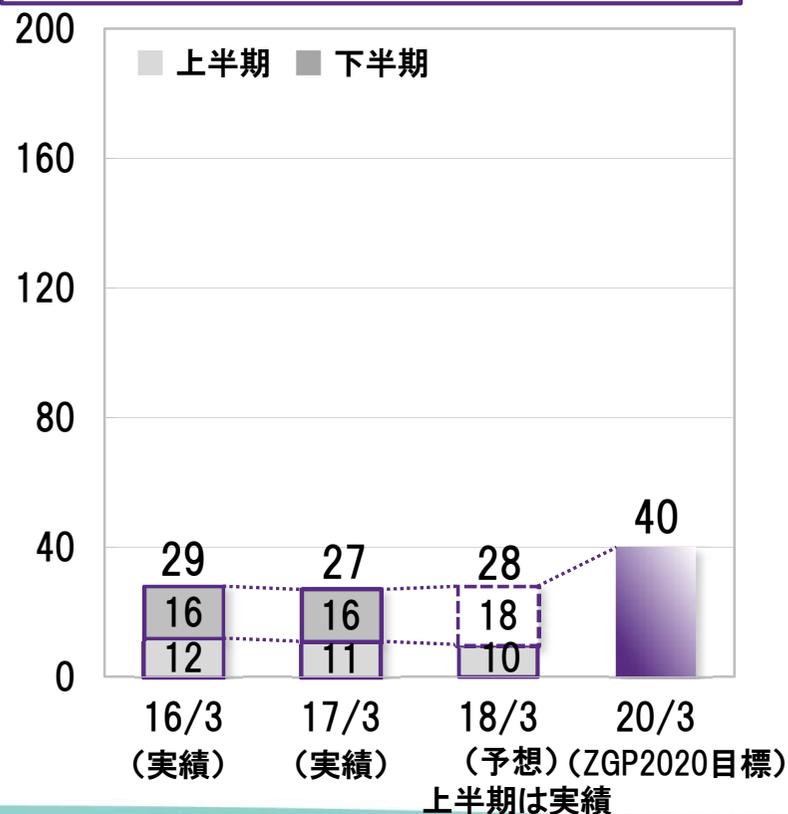
カーナビゲーション機能の充実、コネクテッドカー、自動運転など
先端技術への活用や新たなモビリティサービスの実現へ

3-2) ZGP2020事業戦略 —海外事業—

2018年3月期 売上高予想
前期比 +1億円(+4.4%)

グローバルアライアンス再構築

＜第2四半期進捗＞
既存の欧米向けオーサリングは堅調
車載ソフトウェア連携サービスが遅延



インドビジネス拡大

ASEANビジネスの立ち上げ

海外GISの立ち上げ

車載ソフトウェアと連携した
ソリューションサービスの採用拡大

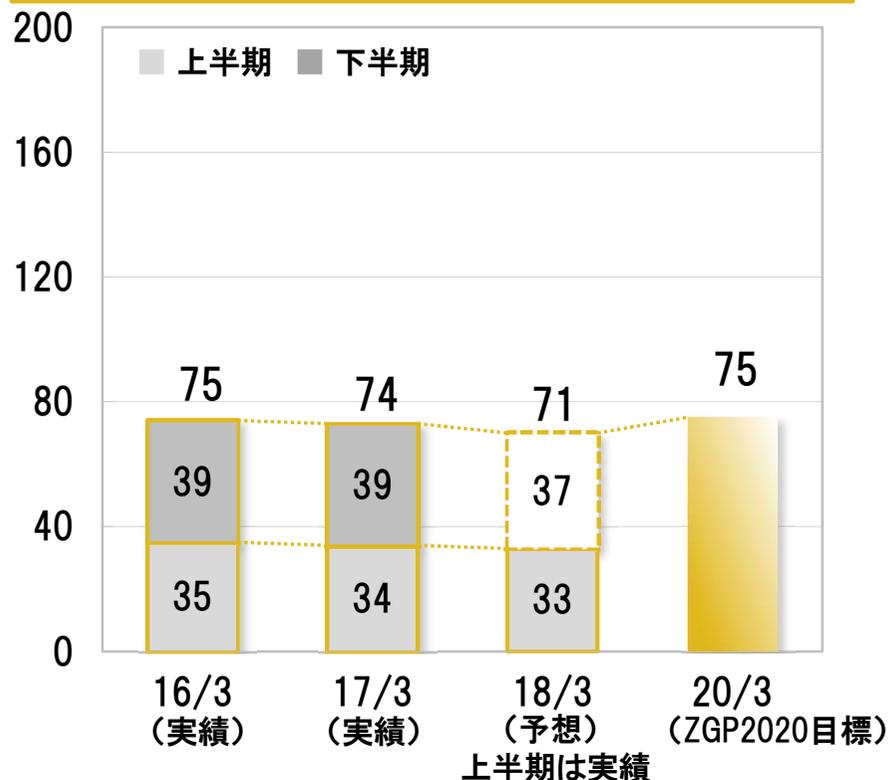
3-2) ZGP2020事業戦略 —その他事業— (一般印刷・インシipp等広告)

2018年3月期 売上高予想
前期比 $\Delta 2$ 億円($\Delta 3.9\%$)

金額単位:億円

グループシナジー再検証

<第2四半期進捗>
マーケティングソリューションを展開する
大東マーケティングソリューションズ子会社化



一般印刷ビジネスの収益改善

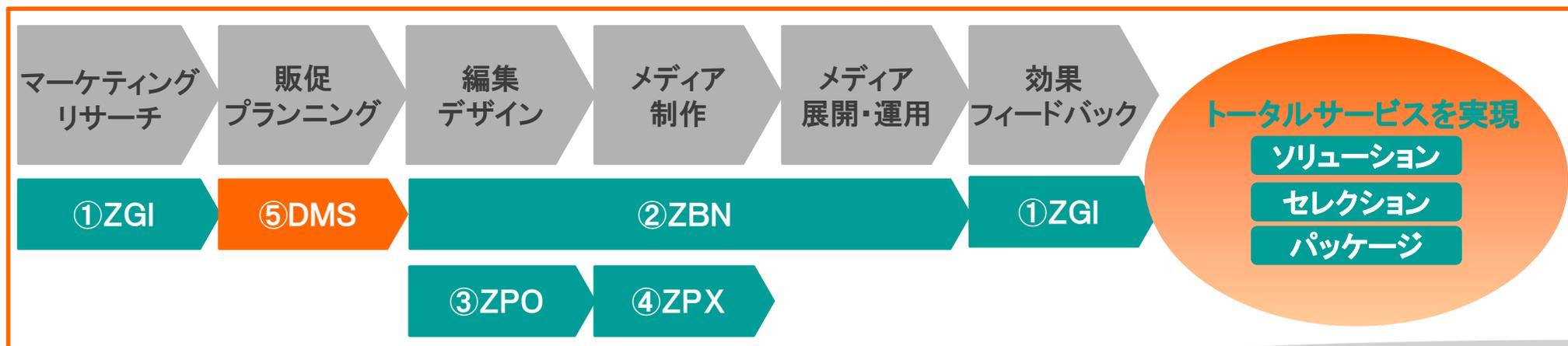
ダイレクトプロモーションの収益維持

マーケティングソリューションビジネス立ち上げ

グループリソースを活用したマーケティングソリューションビジネス創造

グループ会社	各社事業概要
① (株)ゼンリンジオインテリジェンス(ZGI)	GISマーケティング、クラウドサービス、マーケティングリサーチ
② (株)ゼンリンビズネクサス(ZBN)	DM発送代行、DMチラシ制作・印刷、広告サービス
③ (株)ゼンリンプラスワン(ZPO)	各種出版物及び地図の企画・編集・デザイン
④ (株)ゼンリンプリントックス(ZPX)	出版物の印刷、商業印刷(販促・業務用・書籍・刊行物等)
⑤ 大東マーケティングソリューションズ(株) (2017年10月3日子会社化)	販売促進・宣伝に関する企画・実行、 宣伝印刷に関する企画・取材・編集・撮影

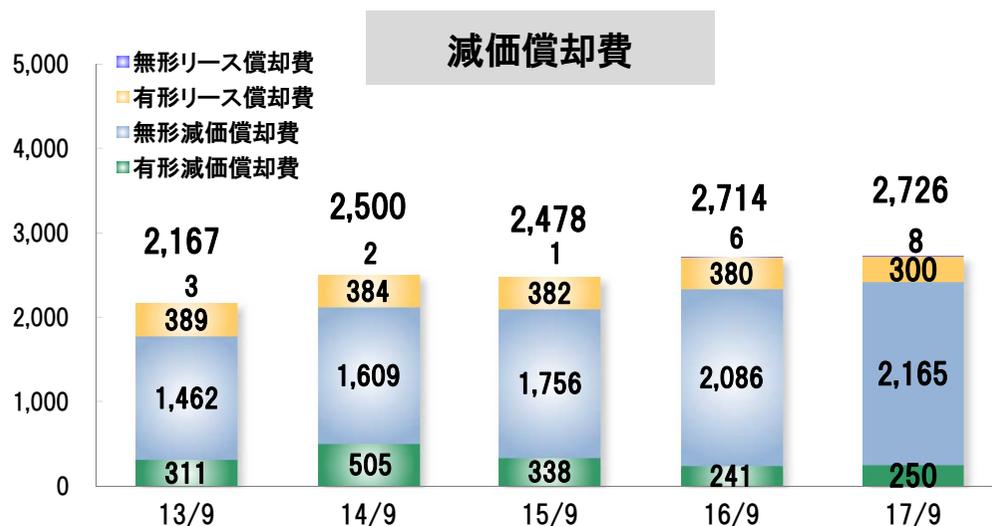
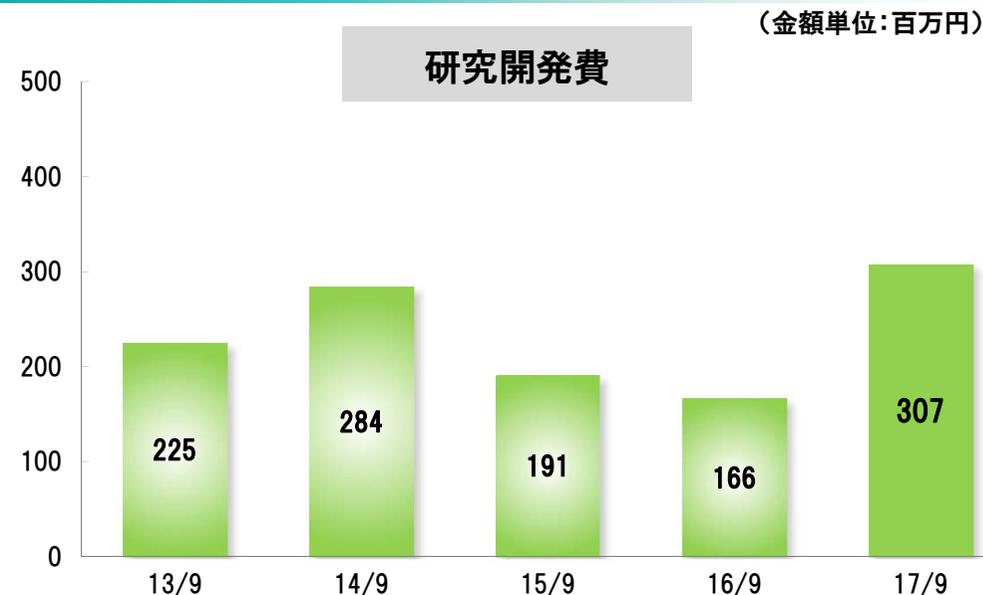
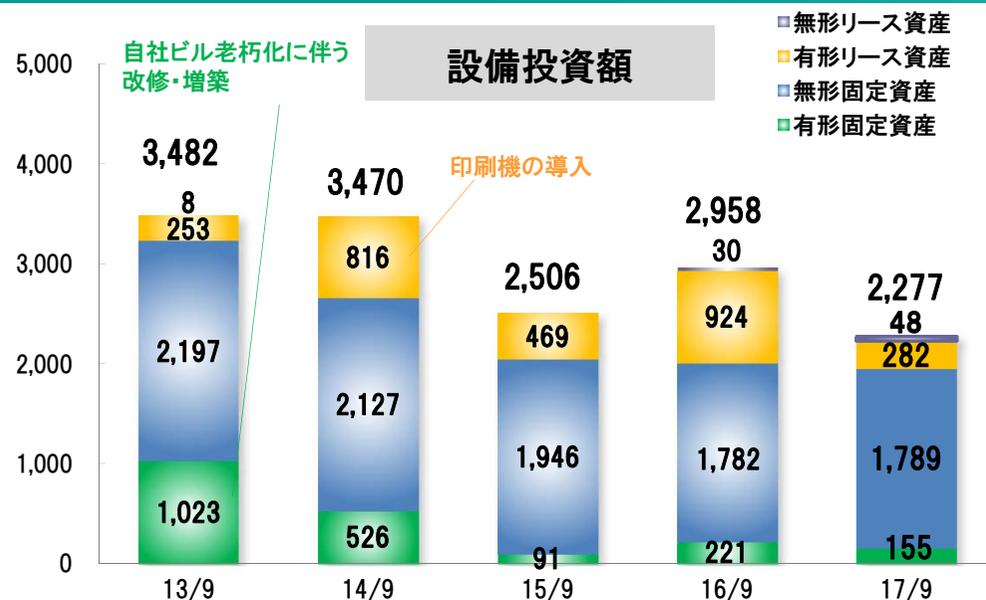
[マーケティング・ビジネス市場におけるトータルサービスを実現]



4. Appendix

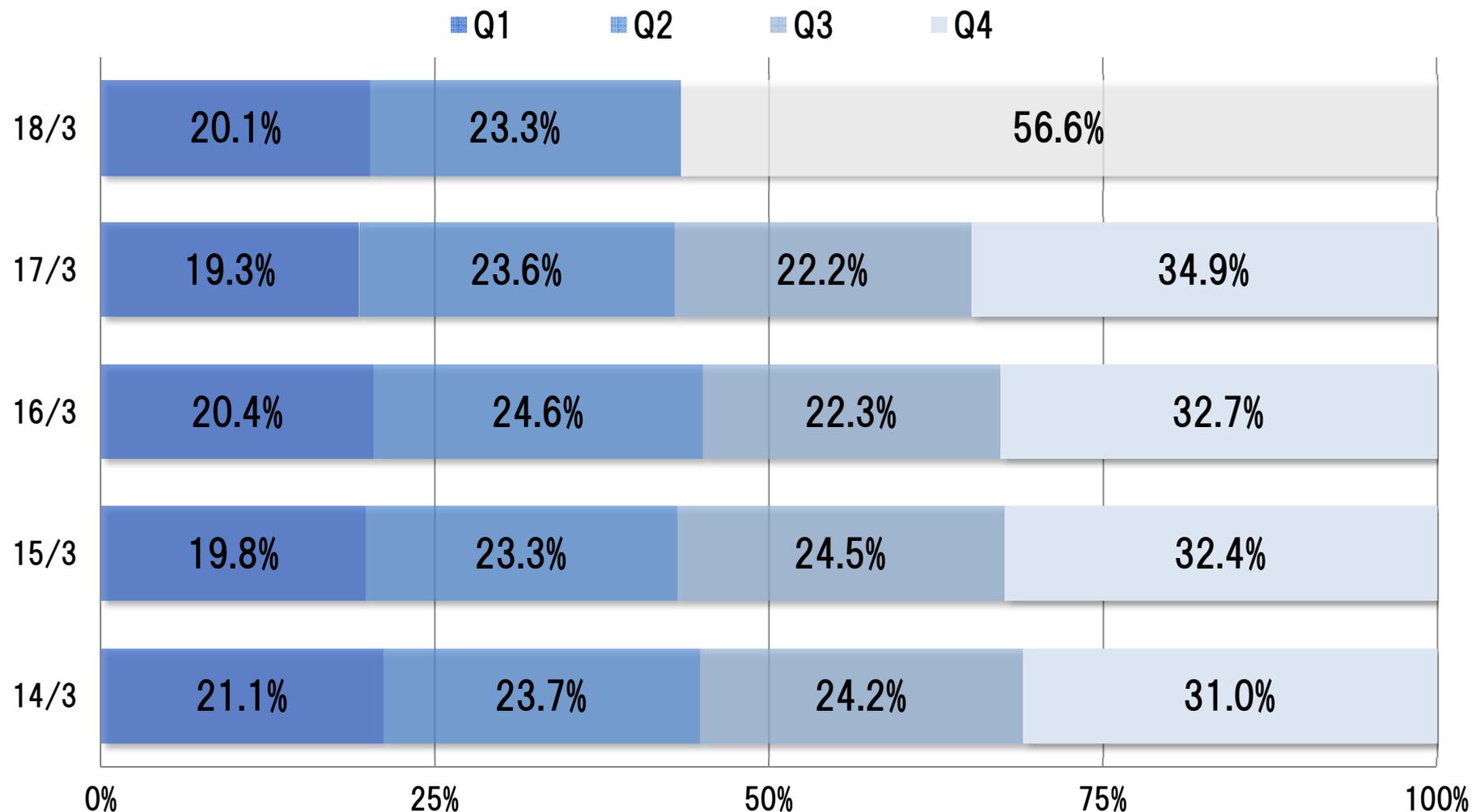
- 1) 2018年3月期 第2四半期決算概要
設備投資額、減価償却費、研究開発費
四半期売上高構成比 推移
- 2) 2018年3月期 通期業績予想(2017年3月期 決算説明会資料より)
売上高・利益の推移
セグメント情報
設備投資額、減価償却費、研究開発費
- 3) 中長期経営計画(ZGP2020)
目標数値
- 4) 事業トピック

4-1) 第2四半期決算概要(設備投資額、減価償却費、研究開発費)

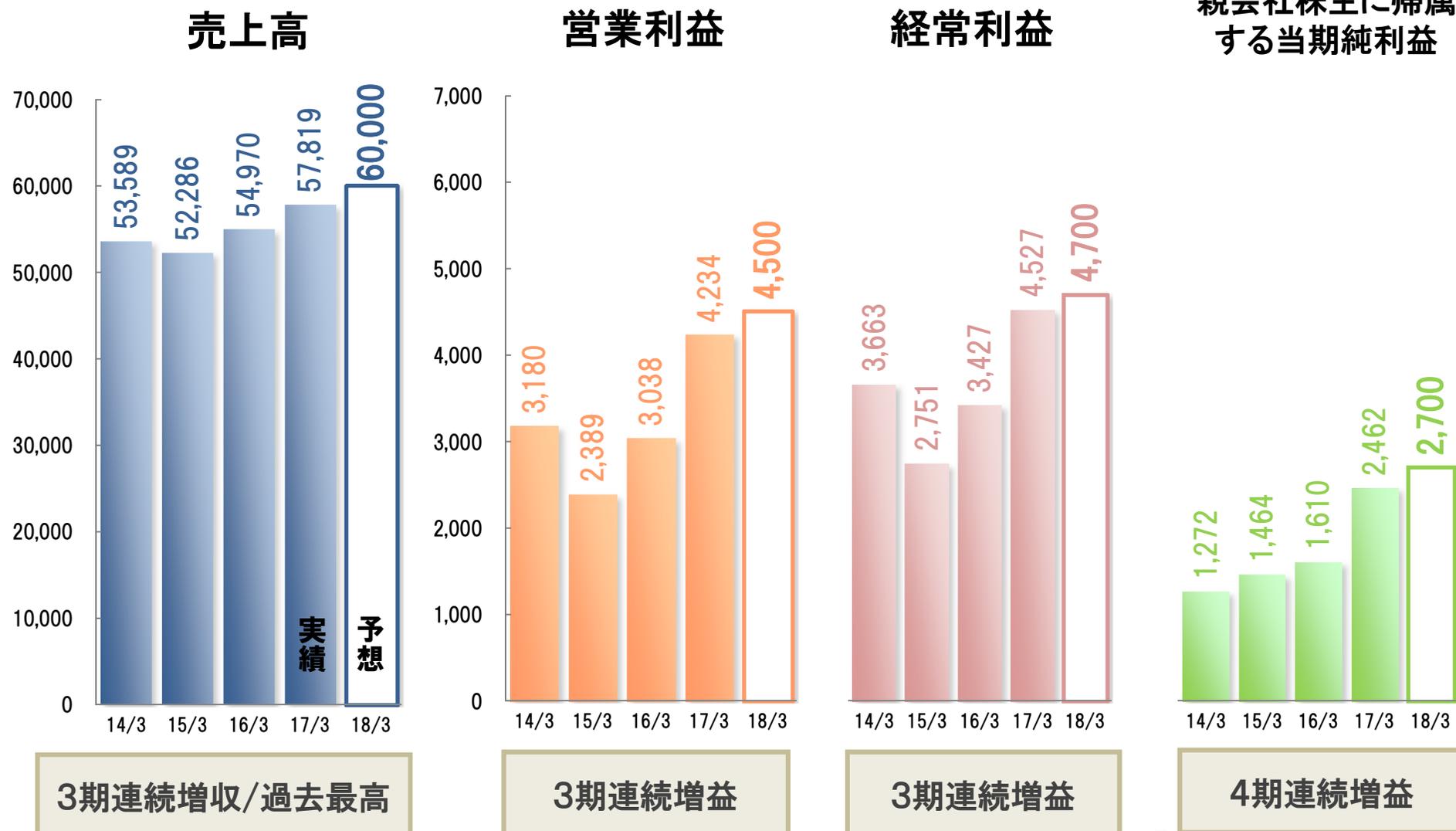


4-1) 第2四半期決算概要(四半期売上高構成比 推移)

2018年3月期 第2四半期決算説明会



4-2) 通期業績予想(売上高・利益の推移)



4-2) 通期業績予想(セグメント情報)

売上構成
比率

85.1%

1. 地図データベース関連事業

主要品目等：住宅地図帳、住宅地図データベース
国内外カーナビ用地図データ
スマートフォン向けサービス
各種メディア・デバイスへの地図情報提供等



2. 一般印刷関連事業

主要品目等：商業印刷



5.8%

3. その他

主要品目等：仕入商品、デジタルサイネージ
ダイレクトメール発送代行、インシップ広告



9.1%

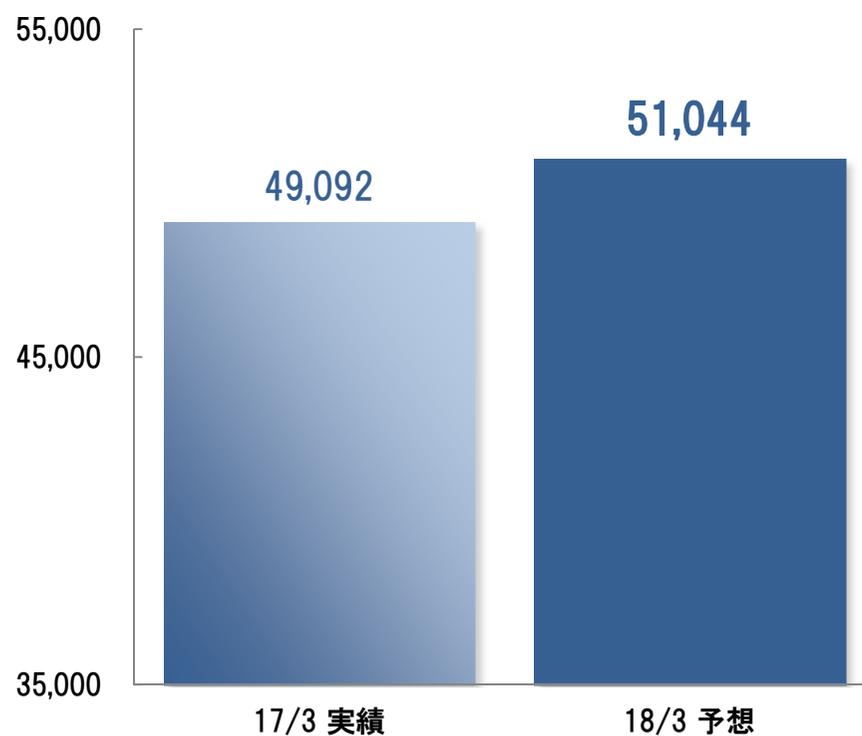
4-2) 通期業績予想(セグメント情報)

地図データベース関連事業

売上高

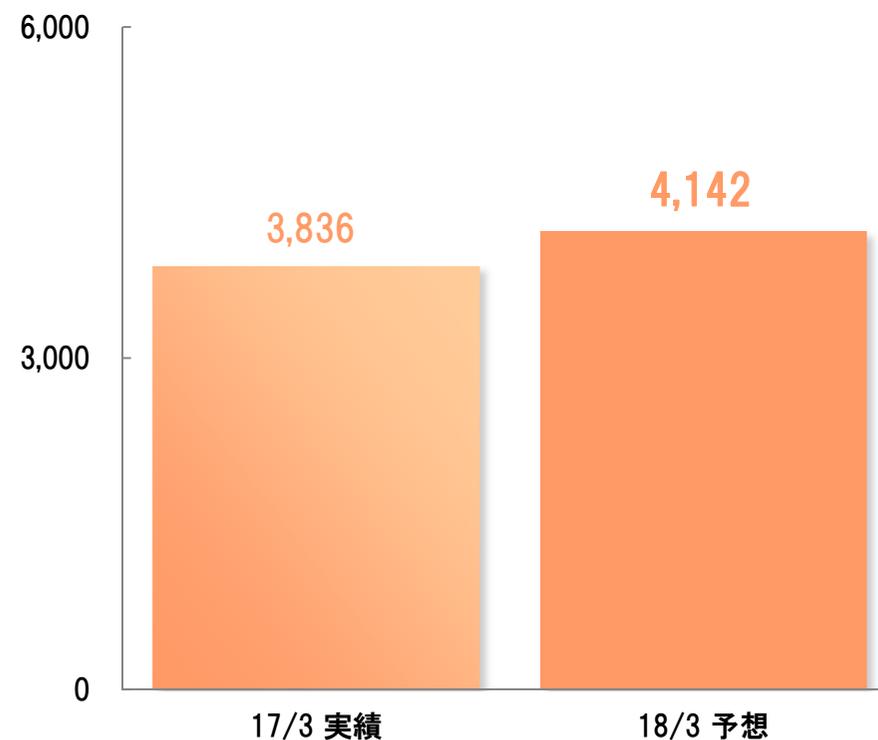
前期比

1,952増加 (+4.0%)



営業利益

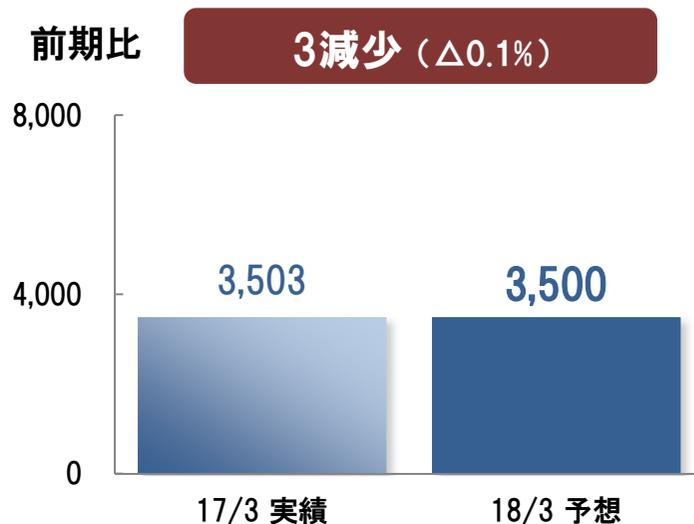
305増加 (+8.0%)



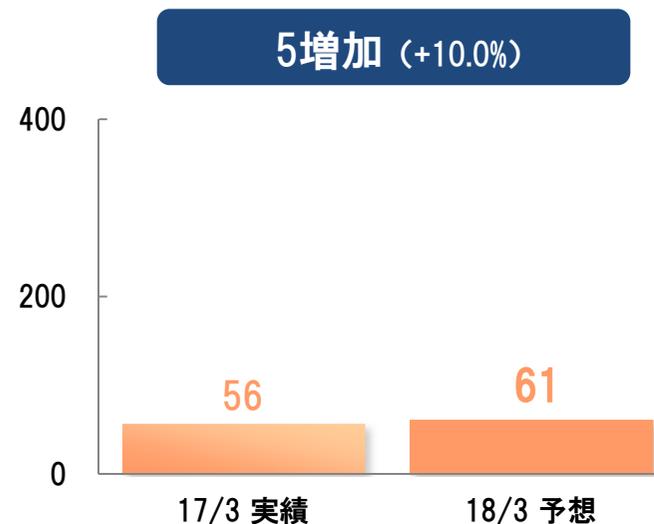
4-2) 通期業績予想(セグメント情報)

一般印刷関連事業

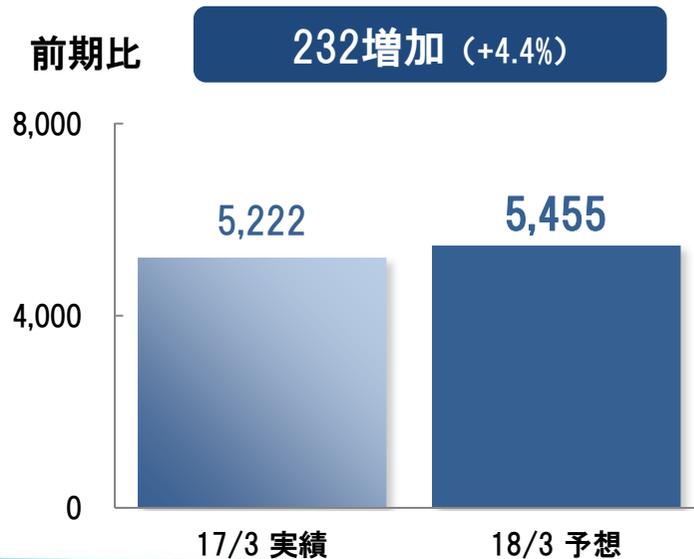
売上高



営業利益

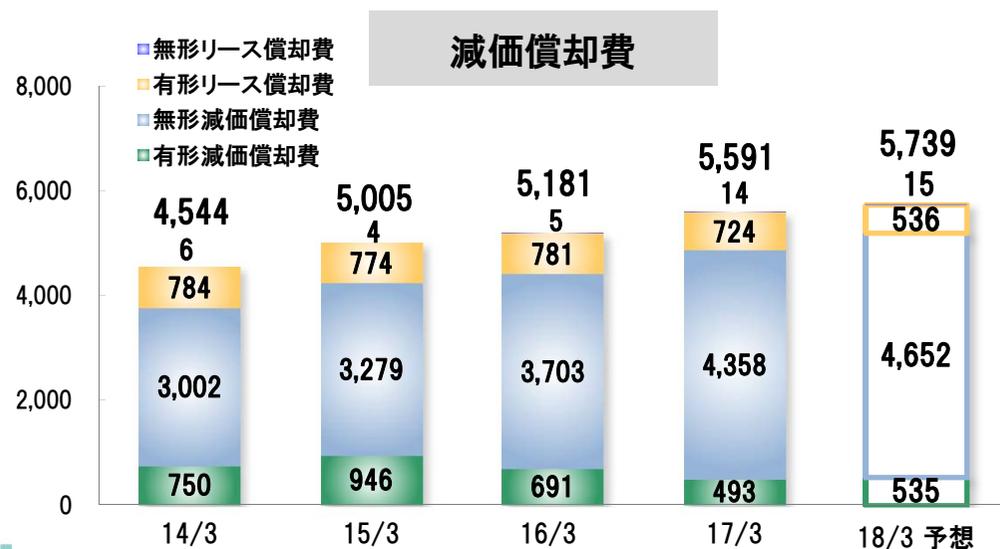
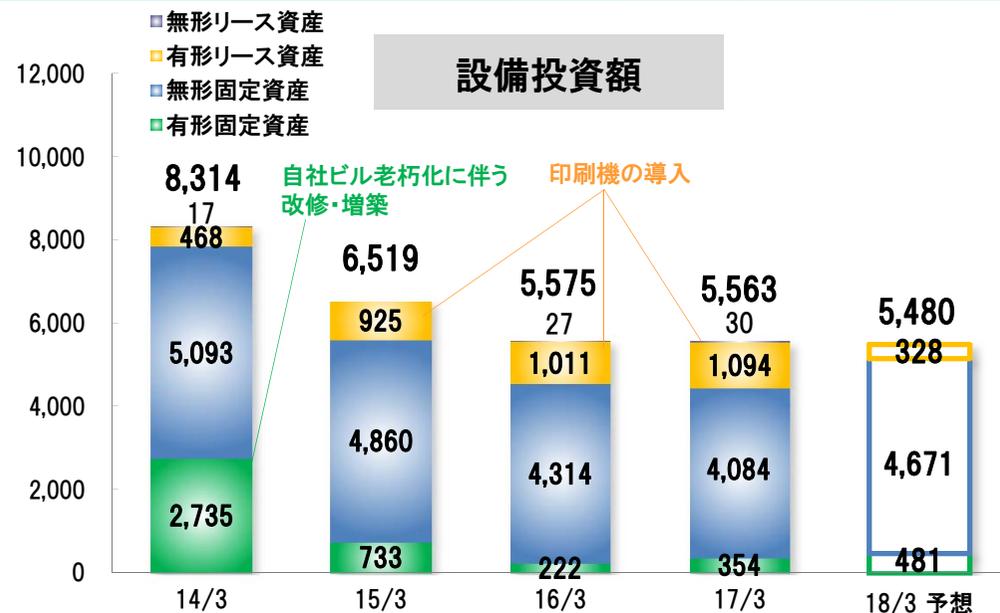


その他



4-2) 通期業績予想(設備投資額・減価償却費・研究開発費)

(金額単位:百万円)



4-3) 中長期経営計画(ZGP2020) 目標数値と進捗

	2016年3月期 実績	2017年3月期 実績	2018年3月期 予想	2020年3月期 目標
連結売上高	549億円	578億円	600億円	700億円
連結営業利益 (利益率)	30億円 (5.5%)	42億円 (7.3%)	45億円 (7.5%)	100億円 (14.2%)
ROE (自己資本当期純利益率)	4.0%	6.0%	6.3%	12%以上
DOE (連結株主資本配当率)	3.0%	3.1%	3%以上	3%以上

■「ZENRIN GISパッケージ不動産ライト」発売

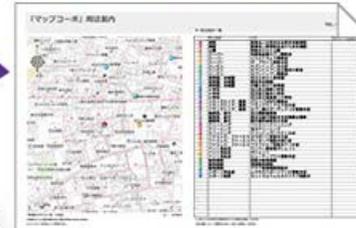
(2017年7月11日)

業種ごとの課題を解決する専用アプリケーション「ZENRIN GISパッケージ」のラインナップを拡充！
不動産賃貸仲介業における接客業務をサポートする各種機能を搭載した
「ZENRIN GIS パッケージ不動産ライト」を、7月31日(月)から販売開始
価格は 1ID あたり月額 2,980 円(税別)、ゼンリンの公式オンラインショップ「ZENRIN Store」から購入申込可能

物件を探しているお客様(借主)の家族構成や、
その他の属性などに合わせた物件の周辺施設、
公立小学校の校区など、
物件周辺の情報を簡単に地図上に表示。
借主向けに情報提供することができ、接客業務をきめ細かくサポート。
車庫証明申請書類用の地図切り取り機能により、
駐車場を契約する借主に対してもより丁寧な対応を可能に。

お客様の急な要望にもあわてることなく対応できて助かる

追加の物件案内にも対応できる！



小学校区が地図に重ねて表示できる！



お客様に合わせた資料が簡単に作れて便利



■大東マーケティングソリューションズ 子会社化

(2017年9月26日)

マーケティングソリューションビジネスを手掛ける大東マーケティングソリューションズ(株)(以下 DMS)を2017年10月3日付で子会社化。マーケティングソリューション事業を強化!

ゼンリングroupは、中長期経営計画「ZENRIN GROWTH PLAN2020」の基本構成に掲げる「『モノ』から『コト』への転換」の一環として、地図データや地図関連商品・サービスの提供に加え、グループ会社が手掛ける一般印刷やダイレクトマーケティング、GIS マーケティング等のシナジーを追求したマーケティングソリューション事業の拡大を目指しています。

DMS は、1948年に印刷会社として設立。以降、宣伝印刷物を皮切りにマーケティング、プロモーション、クリエイティブ、WEB サイト構築など、企業の宣伝や販促を支援するマーケティングソリューションにおいて幅広い領域をカバーし、実績を上げています。

今回の子会社化により、DMS のマーケティングソリューションのノウハウや機能を取り込み、マーケティングソリューション事業を強化します。また、DMS が持つノウハウや機能と、グループ会社が持つ強みや機能を組み合わせることにより、マーケティングリサーチから販促プランニング、販促メディア制作、メディア展開・運用、効果測定・フィードバックまでをワンストップで提供するマーケティングソリューションの実現を目指します。

DAITO

MARKETING SOLUTIONS

■自治体向け住宅地図情報サービス 来年度から提供開始

(2017年9月27日)

庁内全職員がPCで住宅地図利用可能に！

クラウド型行政専用ネットワーク「LGWAN^(※1)」を経由して利用できる自治体向けの住宅地図情報サービス「自治体向けGIS application LGWAN(仮称)^(※2)」の提供を2018年4月から開始

※1:LGWAN(エル・ジー・ワン Local Government Wide Area Network:総合行政ネットワーク)

地方公共団体情報システム機構(J-LIS)が運営する、高度なセキュリティを維持した行政専用の閉域ネットワーク。このネットワークを介して、自治体は各種の行政サービスを共同で利用することができます。

※2:本サービスは、富士通エフ・アイ・ピー株式会社のクラウドサービス「LGWAN-ASP 基盤サービス」を使用します。

自治体では、総務省の求めで、セキュリティの観点から、LGWAN 接続系とインターネット接続系のネットワークの分割が進んでいます。その為、PC で住宅地図を利用する場合、インターネットを介さず、部署ごとに庁内にサーバーを設置して住宅地図システムを導入するのが一般的で、利用者も限られていました。

当サービスは、自治体単位で契約でき、サーバー設置が不要で初期投資も抑制できるクラウド型サービスとして提供することにより、LGWAN 接続系を利用している庁内全職員が利用できるようになります。通常業務はもちろん、災害時など緊急に住宅地図が必要になる場面にも対応可能になります。

画面イメージ



4-4) 事業トピック

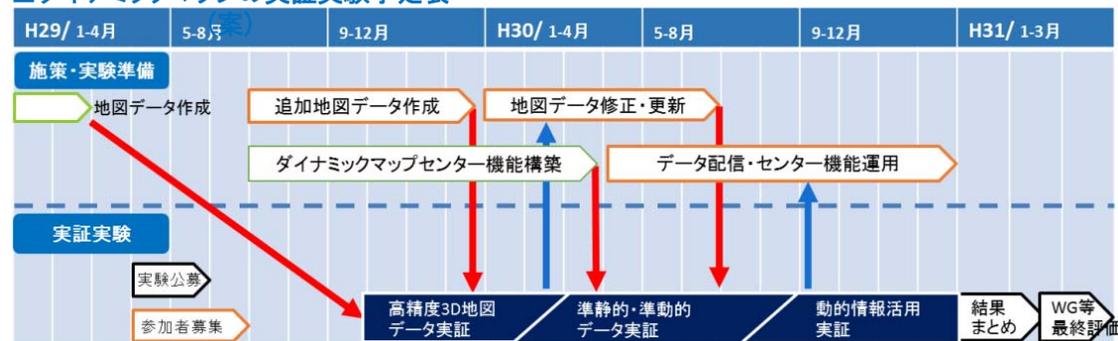
■ 戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)自動走行システム／大規模実証実験」で NEDOより受託 (2017年10月4日)

三菱電機(株)、アイサンテクノロジー(株)、インクリメント・ピー(株)、(株)トヨタマップマスター、(株)パスコと当社の6社は、「ダイナミックマップ大規模実証実験コンソーシアム」としてNEDO(※)の2017年度委託業務事業「戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)自動走行システム／大規模 実証実験」に係わる「ダイナミックマップの試作・整備及びセンター機能や更新手法等の確立」及び、「大規模実証実験の実施・管理」を受託しました。昨年度、6社は、内閣府SIP自動走行システムの施策にて、ダイナミックマップ構築の為のデータ構造を検討し必要な要件や解決すべき課題等を明確化しました。今回の受託内容は静的な高精度3D地図データの仕様・精度の検証、準静的・準動的データの生成・更新・配信システムの検証及び、動的情報と車載機に配信されたダイナミックマップデータとの車載機上での紐付けの検証を行い、下記の実現を目指します。

- ① ダイナミックマップの実用化に向けた最終仕様の確認・合意
- ② ダイナミックマップの国際標準化、デファクト化の推進
- ③ ダイナミックマップ活用に関する研究開発、アプリケーション開発の促進

今回の実証実験では、自動車メーカーや大学・研究機関等も参加。公道の実交通環境下においてダイナミックマップの技術検証を行います。

■ ダイナミックマップの実証実験予定表



■ ダイナミックマップの実証実験システム構成 (案)



※NEDO: 国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

■ TomTom、ゼンリン、ゼンリンデータコムが協業で合意

日本における高度でリアルタイムなトラフィックサービスを共同開発

(2017年10月27日)

カーナビゲーション機能の充実、コネクテッドカー、自動運転など先端技術への活用をはじめ、新たなモビリティサービスの実現を目指す

《主な協業内容》

● **トラフィックサービスを共同開発**

TomTom の AI やマシンラーニング技術と、ゼンリンの精度の高い地図データベース、ゼンリンデータコムの情報処理技術の融合により、高度なトラフィックサービスを共同開発します。各関連団体とも協調して促進します。

● **2018 年度以降にトラフィックサービスの実証を開始予定**

国内のカーメーカー、ナビメーカー、ナビアプリベンダーなどへの提供に向けて、2018年度以降にトラフィックサービスの実証を開始予定です。渋滞情報だけでなく、正確な到着時間の予測や、高精度な渋滞最後尾予測など、ドライバーの利便性を大きく高める機能開発を推進します。

● **あらゆるIoT機器から得られる位置情報ビッグデータを相互に連携・活用した「地図エコシステム」**

トラフィックサービスの提供を介して、自動車やモバイル端末などの IoT 機器から得られる位置情報ビッグデータを相互に連携・活用することで、社会全体の交通情報の精度が向上する「地図エコシステム」の構築を目指します。これにより、ナビゲーションなど既存サービスの充実、ダイナミックマップ基盤(株)の高精度3次元地図データの協調領域と連携することで自動運転システムへのダイナミック情報の生成・提供が実現します。また、渋滞の抑制、スムーズな交通流など IoT と連携したスマートシティの実現にも貢献します。

この「地図エコシステム」を活用することにより、地図データの逐次更新への取り組みも検討しています。

■各種イベントへの出展

- 「インバウンド・ジャパン 2017」(7/19~7/21)、「インバウンド・観光ビジネス総合展」(9/21~9/23)
自治体、交通事業者、宿泊施設、道の駅など向けに、多言語地図を使った行動支援ソリューションを紹介
- 「ギフトショー秋2017 LIFE×DESIGN」(8/30~9/2)
地図ステーションリー「mati mati」を出展
- 「第19回不動産ソリューションフェア」(10/16~17)
不動産業の各種業務を支援する地図配信サービス「ZENRIN GISパッケージ不動産」のラインナップとして、「ライト」、「スタンダード」に加え、初展示の「プレミアム」などを紹介
- 「第24回 ITS 世界会議モントリオール2017」(10/29~11/2)
位置情報ビッグデータの活用構想「地図エコシステム」を紹介



ZENRIN

Maps to the Future

株式会社ゼンリン <http://www.zenrin.co.jp>
コーポレート本部 経営管理・IR部
IR問い合わせMail: zenrin-ir@zenrin.co.jp